

日本畜産学会北海道支部における研究発表の変遷

新得畜産試験場 及 川 寛

さる56年9月3日、日本畜産学会北海道支部創立30周年記念大会が北大で開催され、帯広畜大鈴木教授が「支部創立30周年を顧みて」と題する特別講演をされた。また会報第22号には北大広瀬名誉教授が「日本畜産学会北海道支部の歴史」をまとめられている。この30年間に北海道支部で発表された研究成果はかなりの数になるが、この機会に分野毎に整理、まとめてみることは、いろいろな面で有用と思われる。そこで、30周年記念の一環というつもりで、当支部で過去に発表された研究成果をまとめてみた。何分、短期間であったので、分類等適切さを欠く場合もあるかもしれないが、その点はお許し載きたい。

分類は解剖および家畜衛生以外の分野については

畜種別に、草地・飼料作物については草種・品種・栽培・利用（乾草およびサイレージ）に細分した。発表課題の掲載は原則として年代順とし、同一課題で継続して発表されたものについては一括し、できるだけ研究の展開過程がわかるようにした。また1958年春季大会以前の支部会報には巻・号が付されていないため、年次および春・秋の区分を表示した。発表者が複数の場合は、紙面の都合上、講演者以外の氏名は省略した。

1. 講演 (1) 特別講演

演 者	演 題	巻 号	ページ	年 次
島倉享次郎	乳牛種雄検定の組織について	1952・春	9	1952
三沢 正男	欧米の畜産を視察して	〃・秋	6	〃
宮脇 富	欧米の酪農事情	1953・春	11	1953
吉田 稔	濠州の畜産を視察して	〃・秋	9	〃
林 文平	一牧舎の追憶	1954・春	9	1954
牧野佐二郎	家畜の品種と染色体	〃 〃	9	〃
牧野 敏夫	最近の米国酪農事情を視察して	〃・秋	16	〃
永江 純孝	欧州の酪農事情について	1956・春	12	1956
塚本不二雄	（演題不明）	1957・秋	17	1957
厚海 忠夫	スイスの農業	1	14	1958
広瀬 可恒	米国における家畜飼養研究の動向と飼料事情	3	—	1960
先本 勇吉	オーストリア雑見	4	—	1961
木田 三郎	カナダの畜産	5	—	1962
上山 英一	ハワイの農業	6	15	1963
安井 勉	アメリカ留学談	〃	〃	〃
高松 正信	（演題不明）	8	16	1965
鈴木 省三	英国流—レディングの酪農研究所で見たことなど	11	33	1968
和田 晴	アメリカの畜産事情を視察して	〃	34	〃
八戸 芳夫	家畜改良の理念	12	47	1969
和田 晴	天北の農業	14	—	1971
遠藤 清司	最近のアメリカ畜産事情	15	—	1972

演 者	演 題	巻 号	ページ	年 次
西村 正一	我が国の牛乳需給に関する諸問題	15	一	1972
小島 智	新酪農村建設計画について	18	52	1975
広瀬 可恒	北海道酪農百年の歩み	19	61	1976
波岡 茂郎	SPF(特定病原不在)豚の畜産への応用	20	39	1977
八戸 芳夫	東南アジア 特にタイ国の畜産	21	51	1978
大森昭一郎	反芻家畜の飼養に関する研究の動向について	22	31	1979
鈴木 省三	支部創立 30 周年を顧みて	24 (1)	5	1981
朝日田康司	風土と畜産	"	7	"

(2) 支部賞受賞記念講演

演 者	演 題	巻 号	ページ	年 次
新得畜試・研究課題推進班(清水良彦ほか)	肉用牛の大規模繁殖経営における集団飼養技術に関する研究	23 (1)	40	1980
新酪農村指導担当グループ(内山誠一ほか)	新酪農村における酪農技術の普及	"	43	"
今泉英太郎	子牛の代償性成長に関する研究	24 (1)	9	1981
滝川畜試・家さん育種グループ(高橋武ほか)	高能力鶏「滝川ゼットP」の作出	"	11	"

2. シンポジウム

話 題 提 供 者	テ ー マ お よ び 話 題	巻 号	ページ	年 次
遠藤 清司	(テーマ) 自立酪農経営における酪農の規模について 1. 自立酪農経営における酪農の規模について 一主として技術面から一	12	1	1969
高橋 俊行	2. 酪農機械化をめぐる2～3の問題について	"	10	"
五十嵐憲三	3. 多頭数酪農による経営自立化	"	15	"
太田 三郎	(テーマ) 肉牛振興の諸問題 1. 肉専用牛の生産技術	"	24	"
小竹森訓央	2. ホルスタイン雄子牛の肉牛利用	"	38	"
高山 康次	3. 消流面からみた肉用牛振興上の諸問題	"	39	"
光本 孝次	(テーマ) 酪農家における乳牛の改良はどうあるべきか 1. ホルスタインの遺伝的改良とは	17	42	1974
土田 武男	2. 種畜生産基地としての北海道酪農の現況と乳牛改良の目標	"	44	"
町村 末吉	3. 酪農家の立場での乳牛の改良	"	47	"
斉藤 晶	(テーマ) 酪農危機に対する技術面からの対応を探る 1. 私の山地酪農経営一低コスト追求への発想一	24 (1)	14	1981
中紙 輝一	2. 私の簡易育成牛舎一カラ松材使用の堆立式コールドバーン	"	18	"
加藤 孝光	3. 八雲における酪農の発展経過と問題点	"	21	"

3. 総 説

筆 名	課 題	巻 号	ページ	年 次
広瀬 可恒	日本畜産学会北海道支部の歴史	22	35	1979
光本 孝次	乳牛の育種における戦略と組織	22 (2)	5	1980
鈴木 省三	北海道における乳牛管理に関する試験・研究とその背景	"	16	"
波岡 茂郎	S P F 豚の畜産産業への導入	"	24	"
細野 信夫	北海道における牛肉生産の諸問題	"	34	"
三股 正年	北海道の草地	"	46	"
米道 裕弥	北海道養鶏と鶏病について	"	56	"
河田啓一郎	乳牛の繁殖技術における最近の進歩	"	69	"
長岡 正二	乳用牛改良事業の現状	23 (2)	5	1981
朝日田康司	乳牛のタンパク栄養、英国の新飼養標準から	"	15	"
堂腰 純	北海道における畜舎の諸問題 一特に牛舎の換気について一	"	20	"
大浦 義教	北海道における乳質改善の経緯と展望	"	29	"
阿部 登	北海道の養豚	"	43	"
籠田 勝基	北海道における豚病	"	55	"
平山 秀介	わが国におけるめん羊飼育の現状と問題点	"	70	"

4. 一般発表 (1) 経営・経済等

発表者名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
広瀬 可恒	飼料価格評価用モノグラムとその作図法	1952・春	4	1952
折原三津夫	乳牛の冬期粗飼料の経済的考察について	"・秋	"	"
今井源四郎	蝦夷牧について	1953・春	11	1953
木田 晴夫 ほか	東神楽村における給与飼料改変に伴う乳牛飼養経済の向上について	1954・春	2	1954
厚海 忠夫 ほか	経済検定分娩月別牛群の乳量と飼料費について	"	9	"
塩谷 未徹	日本畜産教育論、序説：問題の提起とその応用	1955・春	16	1955
東原 徹 ほか	ブロイラー生産に関する試験、第1報 農家における経済効果の調査結果	1957・春	3	1957
板垣 信之	ジャージー乳の価格	"・秋	12	"
土田 鶴吉	1956年冷害と農業経営形態との関係調査結果について	1958・春	18	1958
高野 定郎 ほか	野付半島牧野組合の牧野現況並びに経営管理とその利用に対する一考察	2	15	1959
首藤 新一 ほか	肉豚飼育の経済性について、第1報 K社製検定飼料給与例	3	8	1960
村山 三郎 ほか	北海道における乳牛を主とした酪農経営に関する研究	5	11	1962
佐藤 明 ほか	第2報 経営中における土地生産力の役割	6	32	1963
佐藤 明 ほか	第3報 播種初年度の Alfalfa の栽培技術の確立とその経営に占める意義	7	39	1964
"	第7報 乳牛の輪換放牧による牛乳生産費低減と牛乳生産性について	9	42	1966
佐藤 明	第9報 ストリップグレージングによる生産費低減と牛乳生産性について	10	15	1967
工藤 皓 ほか	養鶏の大規模経営についての一考察	7	40	1964
宮沢 香春	公共草地の利用方式に関する研究	9	9	1966
石井 格 ほか	第1報 公共草地の予備的実態分析 ホワイトヴィール生産の経済性の検討			

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
石井 格 ほか	第1報 代用乳添加全乳給与による委託生産試験	9	35	1966
〃	第2報 全乳に各種の代用乳を溶かし加えて給与するホワイト トヴィール委託生産試験	〃	36	〃
土田 鶴吉	乳牛飼養多頭化過程における生産性について(予報)	〃	42	〃
早川 晋八	指標からみた大規模養鶏の実態	〃	30	〃
〃	大規模酪農の診断事例, とくに規模拡大途上の課題	11	18	1968
広瀬 可恒 ほか	ホルスタイン雄子牛の育成・肥育, 第2報 肥育素牛価格につ いて	13	26	1970
小竹森訓央 ほか	ヘレフォード種子牛評価額の一考察	14	19	1971
新出 陽三 ほか	一農場の10年間の産乳量の変動について	16	33	1973

(2) 育 種 ・ 遺 伝

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 一 般				
松本 久喜 ほか	精子と血清の相互作用 (1) 動物新鮮血清中に存在する Spermicidal factor について	1956・ 秋	3	1956
森田 二郎 ほか	(2)動物正常加熱血清による精子の凝集型とその要因	1957・ 春	11	1957
佐藤 邦忠 ほか	体尺測定分析における直交割つけ方法の一例	9	38	1966
○ 乳 牛				
厚海 忠夫 ほか	乳牛経済検定から見た乳牛の泌乳能力並びに飼養法	1952・ 春	9	1952
三須 幹男	脊椎後半分欠損畸形牛並びにその系統について	〃・ 秋	〃	〃
河野敬三郎	種牛の選定基準について(第1報)	〃	8	〃
及川 寛 ほか	根釧地方における乳牛の体型に関する生物統計学的研究	〃	9	〃
厚海 忠夫 ほか	乳牛の一乳期乳量と最高日乳量との相関性について	1953・ 春	4	1953
川端 武史 ほか	乳牛経済検定組合における短泌乳期牛に関する考察	〃	5	〃
島倉享次郎	乳牛の生産記録標準化に用いられる年令換算係数について	〃	5	〃
河野敬三郎 ほか	分娩時期別牛群の乳量変化について	〃	6	〃
桜井 允 ほか	道内種雄牛の雄牛指数について	〃・ 秋	16	〃
近藤 邦広 ほか	第2次経済検定成績(乳量)の著しく向上した乳牛の飼養環境 について	1954・ 春	5	1954
川端 武史 ほか	乳牛経済検定における短泌乳牛について	〃	12	〃
河野敬三郎 ほか	分娩時期別並びに妊娠期間別牛群の泌乳能力について	〃・ 秋	22	〃
桜井 允 ほか	北海道ホルスタイン牛の泌乳能力における娘, 母, 母方祖母, 父方祖母間の相関及び娘のこれらに対する回帰について	1955・ 春	4	1955
奥山 孝 ほか	種雄牛能力指標算出に対する一考察	〃	5	〃
河野敬三郎 ほか	ジャージー種牛の経済検定成績に関する考察	1956・ 春	5~6	1956
工藤 規雄 ほか	初生牛畸形の一例について	1957・ 春	2	1957
河野敬三郎	ジャージー牛の泌乳力検定成績, 第2報	〃	8	〃
桜井 允 ほか	乳牛のふん中のProlactin性物質排泄量について	〃・ 秋	4	〃
鈴木 省三 ほか	乳牛の乳房測尺に関する研究 I 測尺方法について	1958・ 春	1	1958
広瀬 可恒 ほか	輸入ジャージー種牛の泌乳能力に関する考察	〃	3	〃
鈴木 省三 ほか	乳牛の泌乳効率表示法としてのDairy Meritの検討	1	9	〃
〃	乳牛の乳房の大きさとその変化について, III	3	7	1960
島倉享次郎 ほか	乳牛の受胎難易が遺伝による徴候(予報)	4	7	1961
曾根 章夫 ほか	乳牛の成長に関する研究, 第1報 ホルスタイン種雌牛の発 育に対する種雄牛の影響について	5	13	1962

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
平間 英夫	乳検成績よりみた本道における乳牛の年間産脂量と分娩季節並びに地域性について	9	44	1966
武田 功 ほか	搾乳性に関する研究、均称性に及ぼす乳期的影響について	10	27	1967
岡田 清 ほか	若令時の甲状腺機能と泌乳能力について	"	27	"
塚本 達 ほか	機械搾乳の難易性に関する試験			
	第1報 搾乳性と乳房形質の乳期及び日内変動	11	11	1968
"	第2報 搾乳性の産次間変動	13	41	1970
"	第3報 搾乳性と搾乳時間との関係について	14	28	1971
"	第4報 搾乳性の遺伝率推定	17	29	1974
"	第5報 搾乳性と泌乳量との関係	19	36	1976
光本 孝次 ほか	乳牛の量的形質に対する統計的分析			
	I 全十勝乳牛共進会における育種傾向	13	39	1970
光本 孝次	II 全北海道ホルスタイン共進会における入賞傾向について	14	19	1971
光本 孝次 ほか	V 1971年全北海道ホルスタイン共進会の入賞傾向	15	51	1972
三好 俊三 ほか	VI ホルスタイン種雄牛の成長曲線の推定について	15	51	1972
五十嵐 正 ほか	VII ホルスタイン輸入雌牛の体型及び乳房のイメージについて	"	52	"
山口 憲作 ほか	乳牛の交配組織について、1. 十勝ホルスタインの近親交配の可能性	"	53	"
村田 伸夫 ほか	ホルスタインにおける赤色系劣性遺伝子の拡散について	"	54	"
峰崎 康裕 ほか	泌乳能力検定の短期化について	16	26	1973
"	泌乳能力検定の短期化・簡易化について	17	36	1974
"	乳牛の泌乳能力検定の簡易化・短期化について 一遺伝率・遺伝相関の推定一	19	53	1976
曾根 章夫 ほか	乳用種雄牛の母能力に対する特性的評価について	17	37	1974
"	II 母の乳脂率水準に対する影響	18	23	1975
遠藤 雅之 ほか	血縁関係から見積った雌乳牛の相対的能力について	"	38	"
鈴木 三義 ほか	牛群検定における部分記録の補正、その産次及び分娩季節の効果	18	22	"
曾根 章夫 ほか	北海道における乳用後継雌牛選抜の実態			
	I 道東地域の後継雌牛選抜に対する年令層別の認識とその実態	19	49	1976
"	II 道東地域における後継雌牛の外部導入とその効果	"	50	"
高尾 敏男 ほか	III 十勝地区における育成時代泌乳能力予測に関する実態	"	51	1976
曾根 章夫 ほか	IV 道央地域と道北地域の後継牛選抜に対する年令層別の意識と実態	20	19	1977
"	V 後継雌牛に対する育成期の選抜条件の相違とその影響	21	26	1978
赤堀 誠 ほか	乳牛の遺伝的改良量に及ぼす若種雄牛のサンプリングと検定システムの検討	19	52	1976
清水 弘 ほか	乳牛の泌乳曲線に及ぼす産次と分娩季節の影響	"	54	"
西村 和行 ほか	体尺測定値と305日乳量の相関々係について	21	27	1978
塚本 達 ほか	搾乳性の改善に関する試験			
	第1報 2分間乳量分離採取ミルカーの改造とその作動状況の検討	22	29	1979
"	第1報 ミルク・オ・メーターの設置時傾斜が作動精度に及ぼす影響	23 (1)	31	1980
"	第2報 異なる型式の搾乳方式で測定された搾乳速度の比較	24 (1)	42	1981
横内 圀生 ほか	後代検定娘牛の発育と初産次泌乳能力との関係	23 (1)	21	1980

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
西村 和行 ほか ○ 肉 牛	分娩後2カ月の体格と泌乳形質との関係	24 (1)	32	1981
太田 三郎 ほか	無角ヘレフォード種の交雑による肉用牛の肥育に関する研究			
第2報 夏期全放牧, 粗飼料多給による若令肥育	8	12	1965	
第3報 若令肥育における雑種間の増体並びに産肉性の比較	9	38	1966	
細野 信夫 ほか	肉牛の交雑に関する研究, 第1報 無角ヘレフォード種と他品種との累進交雑による質的形質の遺伝と1回雑種雌牛における経済形質の改良度について	9	36	〃
太田 三郎 ほか	乳用牛と外国肉専用牛との一代雑種におけるほ育期の発育比較	10	22	1967
清水 良彦 ほか	乳用種と肉用種との交雑種の自然ほ乳(うば牛)による発育試験	〃	23	〃
小林 道臣 ほか	ヘレフォード種とホルスタイン種との交雑子牛の発育と肥育について	11	30	
杉原 敏弘 ほか	アンガス種, シヤロレー種雄とホルスタイン種雌との雑種牛(F ₁)の発育と産肉性について	14	20	1971
渡辺 寛 ほか	肉用牛の放牧適性品種選定に関する試験			
1. 放牧育成牛の体重の推移	15	33	1972	
2. 放牧牛の採食行動	〃	34	〃	
3. 放牧育成牛の血液成分と増体重	16	23	1973	
渡辺 寛 ほか	放牧肉牛体重の日内変動の推定について	17	35	1974
富樫 研治 ほか	ヘレフォード種の閉鎖群育種モデルと選抜効果に関する電算機シミュレーションについて	23 (1)	21	1980
〃	アパディーンアンガス種, ヘレフォード種雌牛の発育様相の把握	24 (1)	57	1981
○ 馬				
豊田 茂成 ほか	全道種馬及び釧路一千頭雌馬共進会出場馬の体型について	1952・秋	10	1952
井田 善明 ほか	各肢二指を有する畸形馬の一例	1953・春	1	1953
渋谷 敏男	北海道和種とベルシュロン種との交雑種に関する考察			
第1報 交雑種の発育について	1955・春	4	1955	
松本 久喜 ほか	中半血種(約500kg)と小ロバ(約120kg)によるラバの発育について	〃	12	〃
福井 孝作	近親繁殖による子馬の畸形例について	1956・春	15	1956
平沢 一志 ほか	某牧場に発生した馬の遺伝的大腸閉塞症(ATRESIA COLI)について	2	6	1957
工藤 規雄 ほか	ロバの腎の動脈について	6	27	1963
佐藤 邦忠 ほか	放牧馬の検測値分析	10	12	1967
○ めん羊				
堅田 明	めん羊の年令による毛質の変化について(予報)	1952・春	1	1952
吉田 稔 ほか	コリデール種めん羊の羊毛発生密度に関する研究	〃	〃	〃
近藤 知彦	コリデール種めん羊の生体毛生面積の間接測定法について	1953・春	2	1953
渡辺 寛	コリデール種めん羊の羊毛発生密度の年令による変化について	〃	2	〃
堅田 彰	羊毛歩留の測定法について(予報)	・秋	6	〃
堅田彰・武田功	めん羊の産毛量, 毛長, 体重の相互関係について	1955・春	6	1955
堅田 彰	家畜における家系選抜の効果について	〃・秋	17	〃
堅田 彰 ほか	産毛形質のヘリタビリティについて	1956・秋	3	1956
〃	小試料による全フリース洗毛歩留の推定法について	1957・秋	6	1957
武田 功 ほか	子羊体重の発育に伴う遺伝的变化について	〃	7	〃
堅田 彰 ほか	2才めん羊の選抜指数について			

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
阿部 登 ほか	めん羊の血液型について	3	5	1960
田中 誠治 ほか	Southdown×CorriedaleのF ₁ とCorriedaleとの発育及び産肉性の差異について	"	6	"
近藤 知彦 ほか	サウスダウン種とコリデール種の雑種に関する試験 第2報 一代雑種の発育及び産肉性の飼養形態による差異について	4	16	1961
"	第3報 一代雑種の体型について	5	10	1962
"	第4報 産肉性について	6	28	1963
鶴見 利司 ほか	ロムニーマーシュ種の特性に関する研究 第1報 成羊の体型について	7	25	1964
近藤 知彦 ほか	第2報 産毛性について	8	34	1965
"	肉用種めん羊雑種利用試験, サウスダウン・ロムニーマーシュ・サフォーク・ボーダーレスター種とコリデール種とのF ₁ の発育と産肉性について	9	28	1966
平山 秀介 ほか	フィニッシュレンドレース種の成績	21	10	1978
"	フィン及びフィン雑種の繁殖成績	24 (1)	47	1981
○ 豚				
首藤 新一 ほか	野猪とパークシャー種との一代雑種について(予報)	1956・春	23	1956
細野 信夫 ほか	豚の産子数のヘリタビリティ推定について(第1報)	1	4	1958
"	豚の生時体重とその後の発育について, 第1報 生時体重と離乳時までの相関	2	17	1959
"	豚の乳頭数の遺伝に関する研究	3	6	1960
"	"	4	14	1961
首藤 新一 ほか	混合精液による豚の交雑に関する試験, 第1報 豚の雑種利用について	"	"	"
"	第2報 一代雑種と純粋種との産肉性の比較	5	29	1962
"	ランドレース種豚の特性について, 第1報 繁殖成績及び発育等について	"	30	"
"	ラコム種豚の特性に関する調査試験 第1報 ラコム種の体型及び繁殖性について	9	29	1966
阿部 登 ほか	第2報 ラコム種の産肉性について	"	30	"
米田 裕紀 ほか	自給生産飼料利用による肉豚の肥育試験 第3報 パレイシヨ磨砕サイレージ給与による品種別肥育比較試験	9	32	"
"	第4報 ビートトップサイレージ給与による品種別肥育比較試験	"	33	"
阿部 登 ほか	豚の新生児溶血性疾患に関する研究 1. 豚コレラワクチンの実験的接種が赤血球同種抗体の産生並びに溶血性疾患の発症に及ぼす影響について	10	33	1967
"	8. St 38 抗原不適合による発症例について	16	20	1973
阿部 登 ほか	豚における3元雑種の利用について(予備)	10	37	1967
阿部 登 ほか	ランドレースを母体とする一代雑種の利用について, L・H, L・W及びL・Lの比較	11	22	1968
安東 正史 ほか	豚枝肉組成の簡易推定法に関する試験 I 比重による豚枝肉組成の推定について	13	35	1970
"	III ロース最後部位2節を用いた場合の比重による枝肉組成の推定について	14	37	1971
"	IV 豚の産肉性における諸形質間の多変量解析	16	19	1973

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
河部 和雄 ほか	大ヨークシャー種豚の特性に関する調査成績			
	I 育成豚の発育と体型について	14	31	1971
山田 渥 ほか	II 大ヨークシャー種の繁殖能力について	"	32	"
阿部 登 ほか	III 大ヨークシャー種の産肉性について	"	33	"
山田 渥 ほか	豚の血液型, VI その後のEシステム, Kシステム, 及びLシステムについて	19	55	1976
河部 和雄 ほか	大ヨークシャー種原産地別性能に関する予備的調査			
	1. 育成豚の発育と体型	21	35	1978
山田 渥 ほか	2. 繁殖能力について	"	36	"
梶野 清二 ほか	3. 産肉能力について	"	37	"
○ にわとり				
渡辺 裕 ほか	家畜の選抜に対する判別函数の応用	1954・春	3	1954
児玉 浩 ほか	白色レグホーン種体型の生物統計学的研究, 第3報 産卵初年度終了時の体型と産卵数との相関々係	"・秋	16	"
松前 卓平	ニューハンプシャー種に対する二・三の考察	1956・秋	4	1956
岡田 育穂 ほか	家畜生理の遺伝学的研究, 2. 血液ヘモグロビン並びにグルタチオンについて	1957・春	5	1957
東原 徹 ほか	部分検定によるにわとりの産卵能力の推定について			
	第1報 1954年度産卵能力集合検定にわとりの調査結果	"	21	"
	第2報 1955年度産卵能力集合検定にわとりの調査結果	"	21	"
錦織 満 ほか	第3報 卵重の推定について	"・秋	8	"
松前 卓平	ニューハンプシャー種に対する二・三の考察(続報)	"	15	"
錦織 満	冬季休産に関する研究, 閉鎖鶏における冬季休産日数のヘリタビリティ推定について(予報)	1958・春	5	1958
岡田 育穂 ほか	にわとりの血液型			
	第2報 新抗原の分類とその遺伝について	1	4	"
清水 弘 ほか	第8報 B座位の各遺伝子と産卵形質との関連性	7	27	1964
錦織 満	にわとりの冬季休産に関する研究(予報) 閉鎖鶏群における冬季休産日数のヘリタビリティ検定について	1	5	1958
渡辺 寛 ほか	白色レグホーン種, ロードアイランドレット種及びその一代雑種の肥育試験	"	11	"
岡田 育穂 ほか	ひなの血清アルカリフォスファターゼ活性のヘリタビリティ並びに発育との関係	2	6	1959
土田 鶴吉 ほか	養鶏経済検定初年度成績について	"	13	"
早川 晋八 ほか	昭和34年養鶏経済検定成績	3	4	1960
渡辺 寛 ほか	オーストラロップ種と白色レグホーン種の一代雑種について	"	4	"
錦織 満 ほか	ブロイラーの生産に関する試験			
	第1報 ひなの毛色, 発育成績及び育成成績について	4	16	1961
東原 徹 ほか	第2報 飼料効率, 経済効果について	"	17	"
渡辺 寛 ほか	オーストラロップ種と白色レグホーン種の一代雑種について	4	18	"
大久保正彦 ほか	ブロイラー生産に関する研究, (第1報)一代雑種による肥育試験	5	8	1962
岡田 育穂 ほか	ひなの体重並びに血液成分の遺伝力の再検討	"	9	"
八戸 芳夫 ほか	にわとりの抗病性(ひな白痢)育種に関する研究			
	第1報 ひな白痢菌接種試験による系統間の感受性比較	6	31	1963
"	第2報 ひな白痢感受性と体温及び白血球数消長との関連	6	31	"
三上 仁志 ほか	第3報 血液型におけるS座位遺伝子型と感受性との関係	7	26	1964
"	第4報 S系と北大農場系及びその系統間雑種並びに輸入鶏	8	36	1965

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	の感受性比較			
蒔田 秀夫 ほか	ブロイラーの発育に伴う産肉性について	8	8	1965
市川 舜 ほか	鶏卵白の殺菌力に関する2・3の実験的考察	9	28	1966
清水 弘 ほか	ブロイラー用種鶏（ニューハンプシャー種）の各種経済形質の遺伝力と遺伝相関の推定	〃	28	〃
市川 舜 ほか	鶏胚の呼吸量に関する研究、I 主にCO ₂ 呼出量の測定手段について	14	43	1971
田村 千秋 ほか	マレック氏病感受鶏と寒天ゲル内沈降抗体	〃	43	〃
田村 千秋 ほか	卵殻色と産卵形質との関係について、I 卵殻色の指標と測定方法について	15	55	1972
三好 俊三 ほか	鶏卵構成成分の選抜について、III 卵黄・卵白比に対する選抜2世代での形質間関係	16	32	1973
渡辺 寛 ほか	飼養環境と経済形質の相関について、I 採卵鶏の経済形質	17	25	1974
田村 千秋 ほか	劣性伴性矮性遺伝子が産卵能力などに及ぼす影響について	18	24	1975
田村 千秋 ほか	鶏経済能力検定にみる採卵鶏の能力推移	20	20	1977
市川 舜 ほか	寒地における産卵鶏の屋外飼育、4. 低温環境への産卵性に対する選抜の検討	〃	21	〃
金光 優 ほか	高低卵黄・卵白比選抜系における遺伝的分散について	〃	22	〃
森津 康喜 ほか	産卵鶏にみられる異常卵の産卵について	23 (1)	23	1980
田村 千秋 ほか	日本鶏（チャボ）を利用したロード・アイランドレッド種の小格化	24 (1)	52	1981
森津 康喜 ほか	にわとりの年令及び貯蔵日数の経過に伴う卵白質（ハウ単位）変化の検討	〃	〃	〃
○ その他				
錦織 満	家兎各品種の肉用価値について	1952・春	14	1952
〃	家兎の体型及び能力について	1953・春	1	1953
牧野佐二郎	実験用ネズミの系統確立と維持	1954・春	8	1954
錦織 満 ほか	家兎チンチラ品種より黒色毛品種の分離、第2報 黒色、淡色及び白色兎の毛色因子型推定	1956・春	9	1956
高山 奨 ほか	犬外陰部腫瘍の染色体観察	1957・秋	3	1957
松本 久喜 ほか	鴨と鶯の雑種に関する研究	〃	8	〃
岡田 育穂 ほか	鶯と真鴨の血清学的関係（予報）	1958・春	2	1958

(3) 繁 殖

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 一 般				
豊田 茂成	精液保存に関するペニシリン添加の影響	1952・春	12	1952
工藤 規雄 ほか	家畜の子宮動脈の組織学的研究	1955・春	7	1955
○ 牛				
北沢作治郎 ほか	牛の発情及び血粘液の体温	1953・秋	13	1953
渡辺 正雄 ほか	宗谷地方における乳牛の受胎と土質に関する実態調査について	1954・春	10	1954
桜井 允 ほか	発情ホルモンによる乳牛の誘起泌乳について	1955・春	8	1955
工藤 規雄 ほか	家畜の子宮動脈の研究、IV 牛のいわゆる硬変性妊娠輪について	〃・秋	15	〃
香月 利信 ほか	乳牛における分娩時間の予察、第2報 脳下垂体後葉ホルモン「オキシトシン」応用による分娩時間の短縮及び予察について	1	5	1958

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
北沢作次郎 ほか	再度牛分娩日の体温について	1	8	1958
北沢作次郎	初生牛の体温観察	2	7	1959
〃	妊娠牛の朝の体温	4	6	1961
石井 格 ほか	十勝の農家に生まれた四ツ子犢の概況とその哺育実績	5	12	1962
北沢作次郎 ほか	牛発情時の体温	6	26	1963
工藤 規雄 ほか	牛の発情性黄体の退縮過程における変化	7	27	1964
小野 齊 ほか	上士幌町有放牧地における巻牛による受胎試験	〃〃	28	〃
鈴木 省三 ほか	北海道東部地区における乳用牛の年令分布と平均生産年数の推定	8	32	1965
岸 晃司 ほか	マメ科植生率の高い草地に放牧した乳牛の性周期における血中遊離 Estrogen の消長	〃〃	37	〃
石井 格	畜大農場乳牛の分娩時刻調査概要	9	45	1966
永沢 博敏 ほか	乳牛の乳組成成分調節機構に関する研究, 1. 分娩前搾乳による妊娠末期から泌乳初期間, 及び乾乳操作による泌乳末期間の乳組成成分の変化	10	28	1967
山田 稔 ほか	妊娠中の乳腺分泌液の2・3の性状について	14	49	1971
高橋 茂 ほか	牛の発情期における行動様式と授精時期	15	47	1972
平尾 和義 ほか	牛精子における生死鑑別染色法の検討	17	39	1974
徳富 義喜 ほか	牛精子の稀釈に関する研究, (第3報) 特に高倍率稀釈の受胎性を中心として	18	25	1975
岩佐 憲二 ほか	牛の子宮卵巣静脈と卵巣動脈の形態学的関連について	19	46	1976
鈴木 省三 ほか	径腹壁子宮筋電検出による乳牛の陣痛計測について	20	38	1977
内山 誠一 ほか	新酪農村における5カ年の乳牛繁殖実績	24 (1)	30	1981
〇 馬				
平間 英夫 ほか	馬の秋期種付成績について	1952・春	11	1952
金川 弘司 ほか	家畜生殖器粘液の結晶形成に関する研究, 第3報 馬における所見(補遺)	1957・春	23	1957
渡辺 裕 ほか	血清性腺刺激ホルモン(PMS)分析に対する免疫学的方法	7	29	1964
佐藤 邦忠 ほか	免疫学的妊娠診断	8	36	1965
堤 義雄 ほか	馬における排卵同期化の可能性について	14	40	1971
四之宮重徳 ほか	馬精子の凍結に関する研究, 殊にこれまでの受胎性を中心として	18	25	1975
〃	過去10年間の凍結精液による馬の受胎試験結果について	19	44	1976
堤 義雄 ほか	馬卵管内塊状物の由来について	21	22	1978
〇めん羊・山羊				
堤 義雄	めん羊陰脂腎の消長について(予報)	1952・春	11	1952
及川 寛	めん羊の体温変化による性周期の解析	1953・秋	15	1953
香月 利信 ほか	雌めん羊生殖器内における精子進行状態について	1954・春	11	1954
堅田 彰 ほか	めん羊の受精卵移植実験について	2	10	1959
氏間 慎夫 ほか	山羊の乳組成成分調節機構に関する研究, 1. 静注したN-Acetyl-4-Aminoantipyrin (NAAP) の乳汁及び尿への移行について	10	29	1967
河部 和雄 ほか	めん羊の季節外繁殖に関する研究, ホルモン処理による季節外繁殖について	11	25	1968
新出 陽三 ほか	山羊の誘起泌乳における搾乳開始時期の差がその後の乳量及び乳成分に及ぼす影響について	15	9	1972
平山 秀介 ほか	雌子めん羊の発情開始期と若令繁殖成績	17	40	1974
平山 秀介 ほか	めん羊の三つ子生産状況からみた産子数増加の検討	19	45	1976

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
斉藤 利朗 ほか	超音波ドップラー法によるめん羊の妊娠診断について	22	24	1979
福井 豊 ほか	非繁殖季節におけるめん羊の人工授精後の受胎成績	23 (1)	22	1980
○ 豚				
杉村 誠 ほか	豚の中子宮動脈の組織学的研究	1954・秋	8	1954
山下 忠幸 ほか	豚卵巢の解剖学的研究			
	第1報 肉眼的所見	"	9	"
山下 忠幸 ほか	第2報 卵胞, 白色混濁胞, 白色斑の組織学的所見について	1955・秋	16	1955
"	第3報 黒赤色混濁胞, 黄体, 黄色斑の組織学的所見について	1956・春	9	1956
"	第4報 豚卵巢の各種形態における銀好性線維の態度について	"・秋	6	"
高畑 倉彦 ほか	第5報 豚卵巢の各種構造における血管壁の弾性線維について	1957・春	13	1957
山下 忠幸 ほか	第6報 経産歴の明確な一雌豚の卵巢における黄体諸型の所見	"・秋	2	"
中西 久二 ほか	精子のEnergy metabolismに関する研究			
	第1報 豚精子の運動エネルギー源としての糖の効果について	1956・春	15	1956
桜井 充 ほか	第2報 解糖・呼吸に及ぼすりん酸塩の効果について	1957・春	18	1957
工藤 規雄 ほか	家畜の子宮動脈の組織学的研究, V 豚の子宮動脈に関する研究補遺	1957・秋	3	1957
堤 義雄 ほか	家畜胎盤血管構築の研究, 第2報 豚胎盤について	4	1	1961
小山 邦武 ほか	豚精液の凍結保存に関する研究, I 精巢上体尾部精液の凍結	9	26	1966
岩佐 憲二 ほか	無血去勢(ボールマッシャー法)豚の腹腔内播種精巢の所見	14	39	1971
糟谷 泰 ほか	豚の発情と受胎に関する一考察	21	39	1978
出口栄三郎 ほか	繁殖雌豚の血中及び卵巢黄体中カロチノイドの濃度変化について	24 (1)	53	1981
○ にわとり				
三須 幹男 ほか	にわとりにおける生殖腺移植に関する研究			
	予報	1953・春	3	1953
三須 幹男	III 移植卵巢内における黄体様細胞の形成について	1954・春	11	1954
"	V 体諸部位に移植した卵巢の変化(3)	1955・春	8	1955
"	VII 体諸部位に移植した卵巢の日令と移植期間による差異	1956・秋	5	1956
"	XIV 精巢移植について, 1.	1957・秋	5	1957
"	XVI F ₁ 及び品種間における卵巢移植について, 1 家鶏における移植生殖腺の変異に関する研究	1	7	1958
"	XIX 移植卵巢の精子形成	2	11	1959
北沢作治郎 ほか	簡単にわとり胎児標本の作成について	1955・春	6	1955
北沢作治郎	にわとり胎児温について	1956・秋	4	1956
北沢作次郎 ほか	にわたりの腹気嚢充填の睾丸及び冠に及ぼす影響	1957・春	15	1957
北沢作治郎 ほか	发育卵の炭酸ガ 排出	5	9	1962
高橋 武 ほか	にわたりの人工授精試験, (第1報)冬期間鶏舎内温度の異なった鶏舎に飼養された種雄鶏の精液の性状に関する試験	6	28	1963
○ その他				
桜井 允	繁殖性及び泌乳性に関する生化学的研究			
	第1報 副腎皮質機能と性周期との関連について	1953・春	3	1953
"	第2報 副腎皮質機能と妊娠との関係について	"	4	"
桜井 允 ほか	第3報 家兎性周期における白血球像(主として好酸球)の	1956・春	8	1956

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	変化について			
堤 義雄 ほか	家兎における腔粘膜上皮に関する研究	1953・秋	14	1956
〃	家兎腔前庭内洗滌生理的食塩水の乾燥結晶形について	1954・秋	10	1954
佐藤 晶子 ほか	混合性腺刺激ホルモン製剤によるシロネズミの排卵現象の変化	1955・秋	18	1955
堤 義雄 ほか	分娩後哺乳時における家兎腔内游離細胞について	1957・春	6	1957
沖垣 達 ほか	シロネズミの体外排卵	1957・秋	4	〃
堤 義雄 ほか	家兎腔粘液の測定による性周期と卵巣濾胞数との関係	1958・春	4	1958
佐藤 晶子	幼若雌ネズミにおけるホルモンによる人工過剰排卵の細胞形態学的観察	1	6	〃
阿部 光雄 ほか	ミンク精虫の一観察	2	7	1959
田村 達堂 ほか	ミンクの性器、とくに陰茎骨の形態について	〃	8	〃
塩田 義蔵 ほか	ミンクの性器、とくに腔の形態について	〃	8	〃
長谷川寿三 ほか	ミンクの生殖生態	2	9	〃
佐藤 晶子	人為的に多数排卵させたハツカネズミの過剰妊娠に関する2・3の観察	〃	10	〃
堤 義雄 ほか	家兎偽妊娠時における腔内粘液の観察(予報)	〃	10	〃
佐藤 晶子	シロネズミにおける2種の性腺刺激ホルモン投与量と排卵数並びに着床胎児数の関係(予報)	3	7	1960
山下 忠幸 ほか	ミンク、特にいむゆるホモの不妊に関する形態学的研究 (1) 雄の尿生殖器の肉眼的所見	5	10	1962
北沢作次郎 ほか	ウサギの交配後の体温観察	7	26	1964
小栗 紀彦 ほか	家兎胎児の娩出順序	11	24	1968
堤 義雄	偽妊娠家兎子宮の透明標本による卵子の観察	18	27	1975
季 在鉉 ほか	ラット卵管のSsegmentation と上皮細胞の組織学的並びに電顕的観察	19	47	1976
鈴木 裕之 ほか	腔より回収された家兎胚の生存性について	24 (1)	29	1981

(4) 解 剖

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
工藤 規雄 ほか	毛皮動物の解剖学的研究、第1報 ニートリアについて	1952・秋	7	1952
北沢作治郎 ほか	家兎上顎門歯発育の観察	1956・春	10	1956
高畑 倉彦 ほか	ニートリアの腎系球体内動脈の走行	〃	11	〃
北沢作次郎 ほか	胸腺剥出が体重並びに骨に及ぼす影響	1957・秋	1	1957
工藤 規雄 ほか	ミンクの腎動脈の走向について	1958・春	2	1958
阿部 光雄 ほか	猫腎上体動脈の肉眼的観察	1	7	〃
田村 達堂 ほか	犬の陰茎の微細脈管構造について	3	3	1960
堤 義雄 ほか	家兎における生殖諸相と体温、流血中白血球数、及び赤血球数の消長	9	26	1966
山田 純三 ほか	ウズラ血液の巣球と赤血球の微細構造について	15	50	1972
山下 忠幸 ほか	馬の胃腸管粘膜における内分泌細胞の微細構造とその分布について	18	26	1975
山田 純三 ほか	家畜糸状乳頭の走査型電子顕微鏡的観察	19	48	1976
山下 忠幸 ほか	羊の十二指腸粘膜における内分泌細胞の光顕的及び電顕的研究	21	20	1978
平賀 武夫 ほか	心臓が頸部にあった(頸部脱出心)先天性奇形子牛の一例	21	21	1978
竹花 一成 ほか	骨盤結合不形成による先天性腹壁ヘルニアの子牛の一例	〃	22	〃
新出 陽三 ほか	乳牛における乳房の乳汁貯留構造の形態について	〃	28	〃

(5) 飼 養

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 一 般				
仙田 久芳 ほか	時期別飼料の栄養的特性に関する研究	1952・ 秋	2	1952
広瀬 可恒 ほか	反芻獣の第一胃ガス組成の研究 第2報 めん羊及び畜牛の緑餌給与時におけるガス組成につ いて	1953・ 秋	7	1953
大原 久友 ほか	寒冷期における家畜飼養に関する研究, 第1報 めん羊, 家兎 及び子豚の維持飼料	1956・ 春	4	1956
鳶野 保 ほか	反芻胃内微生物による草類繊維素の消化率 I 胃液法による In Vitro Rumen Technique につい て	2	5	1959
〃	II 生育時期並びに草種について	3	16	1960
本橋 裕 ほか	反芻獣第一胃内微生物による飼料栄養素の利用に関する研究, 第2報 N化合物の利用について	3	15	1960
岡本 全弘 ほか	牧草の生育に伴う detergent method fraction の推移につ いて	11	27	1968
蒔田 秀夫 ほか	粗飼料給与時における補助飼料添加の効果に関する試験, (第 1報) 牧草サイレーン給与時における育成牛及びめん羊に対す るトウモロコシまたは育成用配合飼料の補給効果	14	14	1971
岡田 清 ほか	酵素, 内分泌等の生理形質と発育, 泌乳との関係について	16	7	1973
鳶野 保 ほか	牧草中Cellulose Fractionの組成とCWC消化率との関係	16	8	〃
関根純二郎 ほか	牧草蛋白質の抽出による新飼料の調製に関する研究(予報)	17	8	1974
〃	温度及びホールディングタイムがアルファルファ搾汁中のLP C回収に及ぼす影響	18	45	1975
加藤 勲 ほか	アルファルファのタンパク質に関する研究, (第1報) 抽出方 法の検討	〃	46	〃
中川 忠昭	放牧草の飼料価値査定に関する研究, 追肥がイネ科主体牧草の 成分及び消化性に及ぼす影響	〃	48	〃
小倉 紀美 ほか	根室地方産粗飼料の無機成分について	19	16	1976
檜崎 昇 ほか	乾燥鶏ふんの豚及び羊に対する飼料的価値	19	40	1976
萩野 健 ほか	反すう家畜の消化率推定指示物質としてのAIAの検討	21	17	1978
山下 良弘 ほか	野草類に含まれる可消化養分 第1報 クマイザサ, ススキにおける可消化養分含量の時期 別推移	23 (1)	19	1980
○ 乳 牛				
西埜 進	栄養ビートパルプの泌乳効果について	1952・ 春	2	1952
高野 信雄 ほか	牧草放牧地の利用に関する研究 第3報 放牧時の乳牛の栄養採食量に関する試験	〃 ・ 秋	3	〃
〃	第3報 けい牧時における乳牛の採食栄養量に関する研究	1953・ 秋	10	1953
〃	各草地条件下におけるけい牧時の乳牛の採食栄養量について (第II報)	1955・ 秋	2	1955
〃	笹地更新による牧草地の放牧利用試験 第2報 造成放牧地における放牧試験	1954・ 秋	15	1954
〃	第3報 搾乳牛による放牧効果	1955・ 秋	26	1955
〃	第4報 追肥による乳牛の放牧効果	1957・ 秋	30	1957
鈴木 省三 ほか	乳牛泌乳試験の計画方法に関する1考察(乾燥酵母の乳牛飼料 としての価値について)	1954・ 春	2	1954
〃	乳牛の青刈飼料採食速度とし好性との関連について	1955・ 秋	1	1955

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
大原 久友 ほか	寒冷期における家畜飼養に関する研究, 第2報 乳牛の維持飼料と乳量, 乳質との関係	1956・春	4	1956
工藤 吉夫 ほか	糖密飼料の泌乳効果に関する研究	1956・秋	14	〃
藤田 保 ほか	乳牛の放牧利用に関する試験, 混播草地の利用価値について	1957・春	12	1957
仙田 久芳 ほか	カーフミールによる犢育成試験, 第1報	1957・秋	20	〃
大原 久友 ほか	てん菜副産物の飼料的利用に関する研究	1958・春	6	1958
吉田 則人 ほか	てん菜副産物の飼料的利用に関する研究, (10) 十勝国池田町様舞地区におけるビート茎葉給与と乳牛に対する, 飼養調査について	4	11	1961
上山 英一 ほか	魚のあらを主原料とする乳牛用補助配合飼料の価値について	1958・春	7	1958
上山 英一 ほか	Cr ₂ O ₃ 及び chromogen index併用による乳牛の放牧時採食量推定試験(第3報)	1	12	〃
〃	乳牛に投与したCr ₂ O ₃ の回収率について	2	4	1959
〃	産乳量及び乳質に及ぼすビートトップ給与の影響について	3	17	1960
浦上 清 ほか	ホルスタイン子牛の発育標準(体重)と哺乳標準の設定について	4	7	1961
鈴木 省三 ほか	放牧によるホルスタイン種犢の早期離乳試験(第1報)	〃	8	〃
新出 陽三 ほか	〃 (第2報)	6	18~19	1963
大久保正彦 ほか	牛乳の無脂固形分含量に及ぼす春季放牧及び青刈給与の影響	4	8	1961
藤田 保 ほか	乳牛のラディノクローバ草地放牧における粗飼料及び濃厚飼料補給の産乳上の効果	〃	9	〃
長尾 保義 ほか	乳牛に対するモレア飼料の給与適量について	〃	10	〃
坪松 戒三 ほか	Beettop 偏用時における saponin の定量とその生理作用について	〃	11	〃
斉藤 久幸 ほか	Beettop 偏用時における蓂酸分解とその灰分代謝に及ぼす影響について	〃	12	〃
石井 格 ほか	初生犢の増体1kgに要するほ乳量の検討(第1報)	5	12	1962
上田 義彦 ほか	Calf replacer, Calf starter による子牛育成試験	5	13	〃
西埜 進 ほか	糖密, 尿素配合飼料の泌乳効力試験	5	14	〃
長尾 保義 ほか	ビートトップサイレージの多量給与が乳牛の産乳量及び乳質に及ぼす影響について(第2報)	〃	17	〃
坪松 戒三 ほか	牧草サイレージを主体とした乳牛の飼養法確立に関する研究 第2報 サイレージと乾草の給与比率が乳量・乳質に及ぼす影響	6	15	1963
〃	第3報 乾草及び乾草・サイレージ給与時における根菜添加の乳量・乳質に及ぼす影響について	〃	16	〃
岸 昊司 ほか	第4報 牧草サイレージ多給飼養が血液・尿の諸性状に及ぼす影響について	7	9	1964
坂東 健 ほか	第5報 サイレージ多給時における濃厚飼料給与レベルの乳量・品質に及ぼす影響について	〃	9	〃
坪松 戒三 ほか	第11報 サイレージの水分含量が採食量, 体重, 乳量, 乳質に及ぼす影響について	8	20	1965
長尾 保義 ほか	ビートトップサイレージ給与による乳用若牛の育成試験	6	18	1963
石原健太郎 ほか	ミルクリプレーサー及びカーフスターターによる乳用子牛育成試験(第2報)	〃	19	〃
浦上 清 ほか	初生犢の増体1kgに要する哺乳量の検討(第2報)	〃	19	〃
藤田 保 ほか	離乳期が異なる子牛の粗飼料主体育成が発育に及ぼす影響並びに経済性	〃	20	〃

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
藤田 保 ほか	植生、草産力の異なる草地における乳汁生産性に関する調査	6	21	1963
大久保正彦 ほか	唾液の栄養生理学的研究、(第2報)反芻動物の唾液尿素分泌に及ぼす蛋白質飼料レベルの影響について	"	23	"
西 埜 進 ほか	根菜類の牛乳生産性に関する研究			
	第1報 根菜類とサイレージの反転法による比較	"	23	"
"	第2報 青刈とうもろこしサイレージと飼料用ビートの給与比率が乳量・乳組成並びに体重に及ぼす影響について	7	8	1964
"	第3報 飼料用ビートの代替としてのビートパルプの飼料価値	9	40	1966
"	十勝地方における乳用子牛育成の慣行技術調査	6	25	1963
藤田 保 ほか	粗飼料主体による子牛育成法に関する試験			
	第2報 サイレージ単用育成時において補助給与とされる濃厚飼料の栄養水準若令子牛の発育効果について	7	10	1964
塚本 達 ほか	乳用子牛の早期離乳法確立に関する試験			
	第1報 異なるほ乳飼料が子牛の発育及び経済性に及ぼす影響について	"	11	"
曾根 章夫 ほか	第1報の2 異なるほ乳飼料が子牛の発育及び経済性に及ぼす影響について	8	14	1965
小林 道臣 ほか	第2報 子牛の発育に及ぼす乾草の刈取時期及び濃厚飼料給与量の影響について	"	15	"
"	第3報 子牛の発育に及ぼす全乳給与量及び離乳後の放牧の影響について	9	41	1966
大橋 尚夫 ほか	第4報 子牛の発育に及ぼす乾草及びサイレージ単用法と併用法の比較	"	41	"
"	第5報 乾草・サイレージ併用法における濃厚飼料の給与量が子牛の発育に与える影響	10	19	1967
平山 秀介 ほか	乳牛の放牧飼養技術確立に関する試験			
	第1報 いね科優占草地における放牧時補助飼料の効果について	7	12	1964
"	第2報 排ふん周囲不食草面積のせんと排ふん処理効果	8	19	1965
吉田 悟 ほか	第5報 短草、慣行放牧時並びに青刈給与時におけるルーメンVFA組成	9	21	1966
大久保正彦 ほか	犢の消化能力に関する研究			
	II 蛋白分解酵素及び脂肪分解酵素活性の変化	7	28	1964
"	IV 蛋白分解酵素及び脂肪分解酵素活性の変化	8	35	1965
上山 英一 ほか	牛乳の成分組成に及ぼす給与飼料の影響、(第3報)高濃厚飼料給与が乳組成及び第一胃内発酵に及ぼす影響	7	32	1964
上山 英一 ほか	乳牛に対する液体飼料モレア給与の効果に関する考察(第2報)	8	15	1965
河野敬三郎	飼料の給与量と泌乳能力について	"	16	"
西 埜 進 ほか	乳牛の飼料給与基準設定に関する研究	"	18	"
"	牧草単一給与による採食量並びに乾草併用との飼養価値の比較	"	"	"
大橋 尚夫 ほか	放牧乳牛の採食量測定との比較について	"	19	"
和泉 康史 ほか	若雌牛に対する乾草、サイレージの給与比率が発育及び繁殖に及ぼす影響について			
	1. 飼養成績と発育との関係並びに繁殖について	"	37	"
佐野 信一 ほか	2. 血液・尿性状の主要変化について	"	38	"
蒔田 秀夫 ほか	粗飼料の省力的大量調製法に関する試験(第3報)無細切サイレージの飼養効果	9	19	1966

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
塚本 達 ほか	牧草サイレージ・乾草併用法と低水分サイレージ単用法との飼養価値の比較（第2報）	9	20	1966
鈴木 健二 ほか	乳牛に対する処理加工牧草の給与が乳量・乳質に及ぼす影響	〃	40	〃
山下 良弘 ほか	低水分サイレージの調製とその飼養効果に関する試験 第1報 低水分サイレージの養分回収率、栄養価と育成牛の飼養効果	10	10	1967
難波 直樹 ほか	第2報 低水分サイレージの養分回収率、品質と乳牛に対する飼養効果	〃	11	〃
吉田 悟 ほか	放牧地の草量、草丈と採食量との関係	〃	15	1967
小林 道臣 ほか	輪換放牧と連続放牧における濃厚飼料無給与が子牛発育に及ぼす影響	〃	17	〃
寒河江洋一郎ほか	子牛育成と草地の利用との関連に関する研究（第2報）	〃	18	〃
松岡 栄 ほか	人工ルーメンによる第一胃内発酵に関する研究、II VFA生成と基質量との関係	〃	24	〃
鳶野 保 ほか	乳牛の草地型多頭飼養法に関する試験 第1報 サイレージ多給飼養時における濃厚飼料の給与法について	11	10	1968
蒔田 秀夫 ほか	乳用子牛の早期集団放牧育成法に関する試験 第1報 放牧開始月令の差異がその後の発育に及ぼす影響	〃	12	〃
吉田 悟 ほか	第2報 代用乳の給与量の差が発育に及ぼす影響	〃	13	〃
西埜 進 ほか	代用乳の濃度が早期離乳の子牛の育成に及ぼす影響	〃	15	〃
藤田 裕 ほか	子牛育成用乳汁代用飼料に対するメチオニン補足の効果について	〃	15	〃
池田 孝 ほか	初生子牛の消化力の発達に関する研究 II 炭水化物の利用性について	〃	16	〃
藤田 浩三 ほか	子牛の水分代謝に関する研究 III 水分の Turnover	〃	17	〃
今泉英太郎 ほか	草食家畜に対するスギナの障害について（予報）	〃	26	〃
小竹森訓央 ほか	利用目的による草地生産性の差異“牛乳生産と牛肉生産”	〃	27	〃
鈴木慎二郎 ほか	放牧牛の体重測定法に関する試験	〃	29	〃
和泉 康史 ほか	ちっ素施肥及び刈取時期が乾草の飼料価値に及ぼす影響	13	8	1970
山下 良弘 ほか	刈取時期別サイレージの増体効果	〃	14	〃
藤田 裕 ほか	早期離乳子牛における草サイレージの利用性について	〃	15	〃
八幡 林芳 ほか	高水分穀実の飼料特性 1. 小麦について	〃	17	〃
岩崎 薫 ほか	2. えん麦について	14	45	1971
和泉 康史 ほか	乳牛の第一胃内発酵に関する研究 I 濃厚飼料の給与量が乳牛の第一胃内容性状及び低級脂肪酸組成に及ぼす影響	13	19	1970
〃	II 濃厚飼料と乾草との給与比率が第一胃内低級脂肪酸（VFA）産生に及ぼす影響	14	24	1971
和泉 康史	VII とうもろこしサイレージ及び牧草サイレージの給与と第一胃VFA	17	13	1974
〃	VIII 飼料用ビートの摂取量がウシ第一胃内揮発性脂肪酸の産生に及ぼす影響	18	12	1975
岡田 清 ほか	集団放牧における育成牛の発育と甲状腺機能並びにその相互関係について	13	19	1970
朝日田康司 ほか	子牛のエネルギー代謝			

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	II ホルスタイン雄子牛の6か月令までの安静時熱発生量と毎分呼吸量の変化	13	21	1970
関根純二郎 ほか	III ほ乳中の子牛の安静時呼吸量及び呼吸当量について	"	22	"
"	V 夏期及び冬期における乳養期子牛の熱発生量の変化とその日内変動	14	16	1971
西 埜 進 ほか	離乳子牛の発育、飼料摂取量及び水の出入に及ぼす飲水量の影響	13	22	1970
大久保正彦 ほか	発育に伴う子牛の血液性状の変化(2)	"	23	"
松岡 栄 ほか	子牛の尿素利用に関する研究			
	I 離乳直後における尿素利用	"	24	"
"	VIII 尿素がミルクリブレーサー単一給与子牛のちっ素蓄積及び消化に及ぼす影響	19	42	1976
寒河江洋一郎	乳用牛の放牧-粗飼料主体の飼養に関する研究、春生まれ子牛の育成	14	10	1971
裏 悦次	放牧延長に関する試験	"	11	"
松岡 栄 ほか	糖密飼料添加がサイレージの品質と子牛に対する飼料価値に及ぼす効果	"	12	"
藤 田 裕 ほか	幼令牛の発育に及ぼすスターターの給与水準及びエネルギー含量の影響	"	13	"
今泉英太郎 ほか	子牛の発育時における低栄養の影響とその補償法に関する研究			
	1. 低栄養が成長及び消化機能に及ぼす影響	"	15	"
"	3. 離乳後早期の低栄養がその後の成長に及ぼす影響	18	16	1975
"	4. 極端な低栄養が子牛の成長に及ぼす影響	19	21	1976
"	5. 極端な低栄養給与とその後の高栄養給与下の子牛の相対成長	20	32	1977
岡田 清 ほか	成長ホルモン測定法に関する試験	14	22	1971
四十万谷吉郎ほか	ホルスタイン種被毛中無機物含量について			
	1. 部位、毛色が被毛中無機物含量に及ぼす影響	"	25	"
"	2. 季節、年令、妊娠による被毛中無機物含量の相違	15	48	1972
"	3. 育成雌牛の月令、季節による被毛中無機物含量の差異	16	24	1973
"	4. 育成牧場による被毛中無機物含量の差異	18	35	1975
大橋 尚夫 ほか	高能力牛の飼養法に関する研究			
	1. 高泌乳期における濃厚飼料の給与量が乳量及び乳組成に及ぼす影響	14	26	1971
岸 昊司 ほか	2. 高泌乳期における濃厚飼料の給与量が乳牛の血液性状並びに繁殖性に及ぼす影響	"	27	"
和泉 康史 ほか	3. 乾涸・妊娠期及び高泌乳期における栄養水準が乳量及び乳組成に及ぼす影響	16	6	1973
岡本 全弘 ほか	放牧家畜の生理・生態監視用テレメーターの試作と応用 I 生体電気の電送用FM送信器の試作と心拍数の測定への応用	15	12	1972
和泉 康史 ほか	ちっ素施用量が高・中水草サイレージの品質、消化率及び養分摂取量に及ぼす影響	"	17	"
檜 崎 昇 ほか	子牛に対する1日1回ほ乳が発育、飼料の消化、胃の発達に及ぼす影響	15	28	1972
今泉英太郎 ほか	子牛に対する育成時の低栄養がと体の各部位及び臓器重量とその体重比に及ぼす影響	"	29	"
岡本 昌三 ほか	乳用子牛の育成時における栄養水準がその後の生産性に及ぼす影響			

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
岡本 昌三 ほか	1. 同月令交配群の18か月令までの成長	15	30	1972
"	2. 同月令交配群の初産次乳量と36か月令までの成長	16	5	1973
"	3. 同体重交配群の初産までの成長	17	17	1974
"	4. 同体重交配群の初産の成績	18	17	1975
"	5. 同月令交配群の2,3産の成績	19	23	1976
"	6. 同体重交配群の2,3産の成績	20	33	1977
岡本 全弘	粗飼料中のヘイキューブと乾草の比率が乳量・乳組成に及ぼす影響	16	10	1973
萬田 正治 ほか	家畜の成長リズム			
	1. 乳用雌子牛	"	21	"
岩崎 薫 ほか	キューブと乾草及びサイレージの産乳効果の比較	17	12	1974
太田 三郎 ほか	離乳子牛に対する発泡ポリエチレンベレット給与の影響	"	15	"
松岡 栄 ほか	子牛の育成初期における尿素利用	"	16	"
池滝 孝 ほか	育成牧場に預託された乳用育成牛の発育状況とその検討	"	18	"
上山 英一	初生子牛の常乳給与後における血中成分の経時的変化	"	19	"
松岡 栄 ほか	早期離乳子牛の尿素及び酢酸アンモニウムの利用	18	15	1975
上山 英一	初生子牛のカゼイン添加乳給与後における血中成分濃度の経時的変化	"	18	"
岡本 全弘	乳牛による乾草とヘイキューブの飽食量と乳生産	"	19	"
小倉 紀美 ほか	根室地方における乳牛の起立不能症候群多発農家の粗飼料中ミネラル含量について	"	36	"
"	生草給与時における妊娠乾個牛の養分摂取量とミネラル出納	"	37	"
和泉 康史 ほか	自給飼料の産乳性に関する研究, IV とうもろこしサイレージの多給時における濃厚飼料の給与量が養分摂取量及び産乳量に及ぼす影響	19	12	1976
小倉 紀美 ほか	放牧飼養時の妊娠乾個牛に対するリン補給が分娩前後の血中ミネラルに及ぼす影響	"	14	"
黒沢 弘道	ウエファアの採食性と泌乳効果	"	20	"
四十万谷吉郎ほか	固型塩の摂取が低栄養期の子牛に及ぼす影響	"	22	"
上山 英一	乳牛に対するアーモンド果肉の飼料価値について	"	40	"
鈴木 省三 ほか	子牛に対する発酵初乳の給与	"	43	"
小倉 紀美 ほか	牧草主体飼養時における乳牛の分娩前後の血中Ca, 無機P及びMg含量について	20	17	1977
四十万谷吉郎ほか	栄養水準の相異が子牛のミネラル出納と骨中ミネラル含量に及ぼす影響	"	31	"
和泉 康史 ほか	ちっ素施肥量が牧草サイレージの養分含量及び摂取量に及ぼす影響	21	30	1978
尾上 貞雄 ほか	乳牛の栄養と分娩性低Ca血症に関する研究			
	2. 分娩前のCa摂取量の違いが分娩時の血中Ca濃度に及ぼす影響	21	32	"
四十万谷吉郎ほか	火山灰摂取が乳牛のミネラル出納に及ぼす影響	"	33	"
岡田 清 ほか	火山灰摂取が乳牛の血液成分に及ぼす影響	"	34	"
岡本 全弘	サイレージの凍結が乳生産に及ぼす影響	"	42	"
大森昭一郎 ほか	子牛の栄養性下痢発生に関する一考察	22	8	1979
杉原 敏弘 ほか	乳母牛による牛の哺育技術			
	2. Multiple Suckling による子牛の牛乳摂取量について	22	8	1979
池滝 孝 ほか	全乳早期離乳方式による乳用子牛の発育と経済性	22	9	1979
鷹津 秋生 ほか	乾草から多汁性粗飼料への急変が子牛第一胃内性状に及ぼす影響	"	10	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	響について			
大久保正彦 ほか	発育に伴う子牛の第一胃ガス組成の変化	22	10	1979
関根純二郎 ほか	フード法による子牛の呼吸試験の検討（予報）	"	11	"
加藤 信人 ほか	乳牛に対する濃厚飼料の定量給与が粗飼料の摂取並びに乳生産に及ぼす影響	"	21	"
井芹 靖彦 ほか	畑作地帯における酪農の実態（十勝管内音更町における酪農の考察より）			
	第1報 飼養管理の実態	22	23	"
"	第2報 冬期飼料給与の実態, 1. 過去3か年における給与実態	"	"	"
松永 光弘 ほか	第2報 冬期飼料給与の実態, 2. サイレージ給与の実態	"	24	"
井芹 靖彦 ほか	第3報 泌乳量の実態, 1. 極初期泌乳量の実態	23 (1)	30	1980
松永 光弘 ほか	第4報 泌乳量の実態, 2. 泌乳水準別乳量曲線	24 (1)	31	1981
井芹 靖彦 ほか	第5報 泌乳量の実態, 3. 高泌乳牛の乳量曲線	"	"	"
小倉 紀美 ほか	泌乳初期の牛乳生産に及ぼす高蛋白質飼料給与下のマグネシウム補給の影響	23 (1)	9	1980
今泉英太郎 ほか	子牛に対する3か月令からの極端な低栄養がその後の成長に及ぼす影響	"	14	"
関根純二郎 ほか	6週令離乳子牛の25週令までの第1胃発酵様相に及ぼす粗飼料の種類の影響	"	"	"
小林 泰男 ほか	6週令離乳子牛の25週令までのエネルギー及び窒素出納に及ぼす粗飼料の種類の影響	"	15	"
大久保正彦 ほか	離乳子牛に対する飼料のエネルギー価	"	16	"
長沼 勇 ほか	デントコーンのグリーン様サイレージの調製と給与事例について	"	17	"
名久井 忠 ほか	トウモロコシサイレージと乾草, 低水分サイレージの組合せ給与が消化率に及ぼす影響	"	"	"
太田 三郎 ほか	乳牛に対する全飼料配合給与法に関する研究			
	1. 群飼試験	"	29	"
坂東 健 ほか	とうもろこしサイレージ主体乳牛飼養時におけるマメ科牧草サイレージの併給効果	24 (1)	32	"
小倉 紀美 ほか	牧草サイレージに対すとうもろこしサイレージの補給が泌乳牛の血液成分に及ぼす影響	"	33	"
橋崎 昇 ほか	乳牛に対する発酵飼料の給与が乳量及び乳組成に及ぼす影響	"	33	"
野 英二 ほか	チャレンジフィーディングが乳牛に及ぼす影響			
	1. 飼料摂取量, 乳量及び乳組成について	24 (1)	34	1981
安宅 一夫 ほか	2. 第一胃内性状について	"	35	"
今泉英太郎 ほか	重炭酸ナトリウム添加に伴う牛ルーメン内容の変化	"	"	"
諸岡 敏生 ほか	6週令離乳子牛の25週令までの熱発生量に及ぼす粗飼料の種類と割合及び季節の影響	"	37	"
藤田 裕 ほか	牧草サイレージの発酵的品质とエネルギー・窒素の正味利用効率	"	50	"
○ 肉用牛				
広瀬 可恒	肉牛の肥育試験	1957・春	16	1957
中松喬三郎 ほか	足寄町における和牛飼育の実態調査, 第1報	"・秋	25	"
広瀬 可恒 ほか	北海道における和牛肥育試験, 第2報 去勢雄若牛の若令肥育試験	1	9	1958
西埜 進 ほか	畜牛肥育試験, 第1報 乳用牝犢の肥育について	"	10	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
工藤 皓 ほか	若牛の肥育試験 第1報 黒毛和種、日本短角種去勢牛の慣行法による若令肥育	4	15	1961
"	第2報 特に夏季全放牧と短期肥育	5	15	1962
"	第3報 特に群飼肥育	6	17	1963
塚本 達 ほか	乳用雄子牛の肉利用に関する試験(第1報)	8	13	1965
曾根 章夫 ほか	" (第2報)	9	34	1966
浦上 清 ほか	全乳によるホワイトウィール生産試験	9	34	1966
蒔田 秀夫 ほか	低水分無細切サイレージと乾草の乳用雄子牛に対する発育効果比較試験	10	8	1967
大村 武雄 ほか	ホルスタイン種肥育牛体重測定値の変動について	11	28	1968
小竹森訓央 ほか	ホルスタイン雄子牛の育成・肥育 第1報 肥育素牛生産方法の違いが増体成績などに及ぼす影響	13	25	1970
"	第3報 3シーズン放牧・仕上げ肥育	15	32	1972
大谷 滋 ほか	1日1回定量ほ乳方式によるホルスタイン雄子牛のほ育育成	14	18	1971
渡辺 寛 ほか	放牧肉牛の絶食に伴う体重の減少量について	"	21	"
藤田 裕 ほか	ほ乳期における乳用種雄子牛の初期発育と増体効率の関係について	15	31	1972
"	牧草サイレージの化学的品質が幼令子牛の増体効率に及ぼす影響	16	12	1973
小原 勉	異なる草種の放牧地における黒毛和種牛の増体効果	18	49	1975
太田 三郎 ほか	肉用牛仕上期に対する粗飼料代替 "発泡ポリエチレンペレット" 給与の増体量及び肉質に及ぼす影響	"	50	"
小竹森訓央 ほか	3シーズン放牧方式によるヘレフォード種去勢牛の育成肥育	19	27	1976
太田 三郎 ほか	乳用雄去勢牛に対する樹皮炭化物給与の影響	21	46	1978
裏 悦次 ほか	放牧とともろこしサイレージ主体の秋生まれ乳用雄子牛の育成・肥育	"	47	"
小竹森訓央	試験販売からみた「牧草牛」の品質評価	"	"	"
鳶野 保 ほか	アンモニヤ処理えん麦ホールクロップサイレージによるホルスタイン去勢牛の肥育試験	22	7	1979
山下 良弘 ほか	ホル雄肥育期飼料としての牧草サイレージとトウモロコシサイレージの増体効果	"	"	"
新名 正勝 ほか	アンガス種去勢牛における肥育法の差異が産肉性に及ぼす影響	23 (1)	37	"
鳶野 保 ほか	可性ソーダ添加えん麦ホールクロップサイレージによるホルスタイン去勢牛の育成試験	"	"	"
小竹森訓央	大型乳雄牧草牛の3か月仕上げ肥育効果	"	38	"
裏 悦次 ほか	2シーズン放牧と舎飼期ともろこしサイレージ給与による乳用雄子牛の育成肥育(春生まれ)	"	"	"
新名 正勝 ほか	I 飼養成績	24 (1)	55	1981
吉田 悟	II 枝肉成績	"	56	"
○めん羊・山羊	秋生まれ肉用子牛のクリープフィーディングが発育と行動に及ぼす影響	"	"	"
近藤 和彦 ほか	コリデール種めん羊の肥育による赤肉及び脂肪量の変化	1952・春	15	1952
広瀬 可恒 ほか	乳用山羊のエネルギー代謝に関する研究、第2報 維持エネルギーの測定法について	1953・春	8	1953
渡辺 寛 ほか	コリデール種子羊の栄養状態が体重の増加及びフリースの発育に及ぼす影響について	1954・春	17	1954

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
広瀬 可恒 ほか	山羊の第一胃食粥の発酵ガス発生量に関する考察	1954・秋	1	1954
仙田 久芳 ほか	オーロファックDによる子めん羊育成試験	"	2	"
近藤 和彦	めん羊の生草を主とした飼育が羊肉の量及び質に及ぼす影響	"	28	"
早川 政行 ほか	コバルト塩投与による子めん羊の発育効果について	1955・秋	30	1955
広瀬 可恒 ほか	山羊の第一胃細菌群の解糖能について	1956・春	16	1956
小梁川忠士 ほか	牧草の栄養価査定に関する研究, 第1報 乾草の品質が子めん羊の発育に及ぼす影響	1957・春	17	1957
本橋 裕 ほか	草類カロチノイドの利用度に関する研究, 第2報 乾草品質がカロチン並びにビタミンAの貯蔵に及ぼす影響	"	20	"
渡辺 寛 ほか	コリデル種子羊の栄養状態がフリースの発育に及ぼす影響について(II)	"・秋	6	"
早川 政市 ほか	粗飼料の利用度向上に関する研究, 第1報 尿素添加飼養がめん羊における糞わら消化率に及ぼす影響について	"	24	"
高野 信雄 ほか	笹地更新による牧草地の放牧利用試験, 第5報 追肥によるめん羊の放牧効果	1	21	1958
美斉津康民 ほか	牧草類の家畜に対する給与限界とその経済性に関する研究, 予報 めん羊に対する草類単一長期給与について	2	5	1959
田中 誠治 ほか	Lucern mealの利用と調製に関する考察, 第1報 泌乳山羊に対する飼養試験	3	14	1960
西部 慎三 ほか	乳脂生成における低級脂肪酸の利用に関する研究, 錯酸ソーダ1-C ¹⁴ の乳脂肪酸への発現様相について(予報)	"	16	"
星野 貞夫 ほか	反芻家畜における蛋白質の消化に関する研究, 第1報 第一胃内分解について	4	12	1961
齋野 保 ほか	ラディノクロール給与時における澱粉の補給が第一胃内容液中の窒素区分に及ぼす影響	"	13	"
籠田 勝基 ほか	めん羊の濃厚飼料無給与試験	6	28	1963
美斉津康民 ほか	めん羊の多頭数省力管理に関する研究, 第1報 管理の影響について	7	39	1964
石栗 敏機	サイレージの消化・利用に関する研究			
	第1報 サイレージの乾物含量と消化率について	8	21	1965
"	第2報 1番刈グラスサイレージの乾物含量と消化率について	9	21	1966
"	第3報 同一原料草から調製された高水分サイレージ, 低水分サイレージ及び乾草の消化率について	10	9	1967
石栗 敏機 ほか	第4報 予乾が無細切サイレージの品質及び消化率に及ぼす影響	11	8	1968
美斉津康民 ほか	カーフミール給与による早期離乳子めん羊の発育	8	34	1965
小倉 紀美 ほか	粗飼料の飼料価値評価法に関する試験, 第3報 In Vitroセルロース消化率とTDNとの相関関係	9	22	1966
荒 智 ほか	サイレージの給与特性に関する研究, 第1報 消化管内の通過速度と消化率との関係について	"	23	"
坪松 戒三 ほか	生草, 乾草及びサイレージ給与時における各種濃厚飼料併用がちっ素代謝に及ぼす効果	"	24	"
荒 智 ほか	放牧めん羊の第一胃内のガス性状に及ぼす補助飼料の影響について(予報)	10	24	1967
和泉 康史 ほか	飼料の種類によるめん羊第一胃内のVFA及びアンモニア濃度の変化	"	25	"
石井 力男 ほか	若令繁殖めん羊の発育について(第1報)	"	33	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
和泉 康史 ほか	牧草サイレージの摂取量、消化率及び第一胃内発酵産物に及ぼすちっ素施肥と刈取時期の影響	11	9	1968
平山 秀介 ほか	めん羊の豆粕とビートトップによる飼養試験	14	41	1971
西埜 進 ほか	飲水量によるめん羊の第一胃内温、採食量及び排尿量の変化	15	11	1972
松岡 栄 ほか	でん粉粕多給の影響及び窒素源補給としての尿素の効果	"	26	"
杉本 亘之 ほか	反芻家畜における摂取蛋白質と血清尿素態窒素の関係	"	27	"
名久井 忠 ほか	粗飼料の調製法並びに乾物摂取量のちがいが消化管内通過速度、消化率及びNの出納に及ぼす影響	16	9	1973
松岡 栄 ほか	北海道産ヘイキューブの飼料的価値に関する研究(そのI)	"	11	"
石栗 敏機	熟期別トウモロコシ「交4号」サイレージの飼料価値	"	15	"
鳶野 保 ほか	人工ルーメン及び中性デタージェント抽出処理による乾物CWC消化率の測定法(第2報)	17	14	1974
藤田 裕	牧草サイレージ摂取時におけるメン羊の第一胃内水溶性窒素成分の消長について	18	13	1975
名久井 忠 ほか	低蛋白質飼料給与時におけるめん羊の窒素代謝	"	14	"
石栗 敏機	粗飼料の可消化養分総量、可消化乾物量及び可消化有機物量の相互関係	"	29	"
S.S. セルヴェンドラン ほか	稲わらの飼料価値増進に関する研究	"	31	"
坂東 健 ほか	とうもろこしサイレージ、牧草サイレージ並びに濃厚飼料の組合せ給与がめん羊による消化率に及ぼす影響	19	11	1976
安宅 一夫 ほか	高NO ₃ -N蓄積牧草と硝酸塩添加がサイレージの発酵品質とその給与がメン羊のミネラル代謝に及ぼす影響	"	13	"
西埜 進 ほか	メン羊のふん、尿中の無機物と窒素の排泄量に及ぼす飼料中蛋白質含量の影響	"	16	"
岡本 全弘 ほか	ヘイキューブの給与と第一胃液の緩衝能	"	19	"
蒔田 秀夫 ほか	濃厚飼料の消化率の測定について	"	44	"
安宅 一夫 ほか	わが国で初めてみられたメン羊のEperythrozoonosis発生時におけるミネラル代謝について	20	16	1977
斉藤 利朗 ほか	ラム肉生産に関する試験、肥育開始時体重の差異が増体発育及び産肉性に及ぼす影響	"	28	"
"	子羊に対する代用乳給与試験	21	13	1978
大久保正彦 ほか	加熱圧べん処理が穀実の消化率及び第1胃内発酵に及ぼす影響	"	16	"
石栗 敏機	オーチャードグラス及びその採食時のめん羊のふんの密度と化学成分、消化率との関連について	"	17	"
鳶野 保 ほか	えん麦ホールクロップのサイロ埋藏時における HaOH, NH ₃ (NH ₄ OH)の添加レベルが消化率に及ぼす効果	"	18	"
石栗 敏機	オーチャードグラスのめん羊による採食量と飼料価値	22	11	1979
高橋 潤一 ほか	¹⁵ NによるIN VITRO硝酸塩還元を追跡	"	19	"
前田 善夫 ほか	乾草摂取量の差がめん羊のマグネシウムの出納及び血清濃度に及ぼす影響	"	20	"
西埜 進 ほか	飼料中の炭水化物含量がめん羊のミネラル代謝に及ぼす影響	"	20	"
石井 幹 ほか	めん羊のコバルト欠乏症	23 (1)	9	1980
西埜 進 ほか	高マグネシウムを含有している飼料がめん羊の血中ミネラル濃度と消化率に及ぼす影響	"	10	"
高橋 潤一 ほか	亜硝酸塩中毒に関する研究	"	"	"
	6. 低エネルギー・高蛋白質飼料の給与がメン羊の第一胃内亜硝酸塩蓄積及びメトヘモグロビン形成に及ぼす影響	"	"	"
寒河江洋一郎ほか	ラムの放牧仕上げにおける草地前歴の影響について	"	12	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
斉藤 利明 ほか	代用乳給与量の違いが子羊の発育に及ぼす影響	23 (1)	13	1980
松岡 栄 ほか	反芻家畜の尿中窒素成分に関する研究 V 絶食に伴う排泄量の変化	"	18	"
石栗 敏機	アルファルファのめん羊による採食量と飼料価値	"	"	"
安宅 一夫 ほか	馬鈴薯でん粉製造残渣乾燥物、いわゆるポテトプロフィードの 羊における飼料価値	"	20	"
斉藤 利明 ほか	代用乳補給による三子の育成について	24 (1)	45	1981
寒河江洋一郎ほか	母子羊放牧期における子羊へのクリープフィーディングについ て	"	46	"
四十万谷吉郎ほか	飼料摂取量の違いが羊の固型塩摂取量に及ぼす影響	"	47	"
西埜 進 ほか	めん羊の繊維成分の消化率に及ぼす酸化マグネシウムの添加効 果	"	48	"
石栗 敏機	寒地型イネ科牧草のデタージェント法による化学成分と消化率 可消化量との関連	"	49	"
○ 豚				
首藤 新一 ほか	アカクロバーサイレージ給与による豚飼育試験成績について	1952・春	4	1952
和田 治男 ほか	各種抗生物質飼料の子豚発育に及ぼす影響	1953・春	7	1953
首藤 新一 ほか	紫外線照射の豚における育成效果（予報）	1955・秋	31	1955
和田 治男 ほか	磨砕バレイシヨサイレージの調製及びに利用試験 I 磨砕バレイシヨサイレージの調製及び豚の肥育効果	1956・春	18	1956
平尾 厚司 ほか	II イモサイレージ給与が豚の肉質及び脂肪の品質に及ぼす 影響	"	19	"
吉田 晶二 ほか	豚の放牧飼養について	1957・春	5	1957
大橋 守 ほか	生澱粉粕利用による子豚の飼養試験	"	19	"
西部 慎三 ほか	粗飼料給与が肉豚の品質に及ぼす影響 予報 ラデノクローバ給与が幼豚の発育並びに枝肉に及ぼす 影響	"	24	"
平尾 厚司 ほか	第1報 ラデノクローバ給与が幼豚の発育並びにその枝肉に 及ぼす影響	1	10	1958
吉田 晶二 ほか	豚の放牧補助飼料中に含まれる蛋白質飼料の種類が発育並びに 経済性に及ぼす影響について	2	17	1959
首藤 新一 ほか	SMS添加ビートトップサイレージ給与の豚に及ぼす影響	"	23	"
奥村 孝二 ほか	豚の配合飼料による育成について	3	9	1960
吉田 晶二 ほか	豚の放牧飼養試験、飼料多給群と少給群の発育及び経済性比較	"	"	"
太田 三郎 ほか	混播牧草地における豚の放牧育成試験（第1報）	4	15	1961
福原 政斗 ほか	豚の育成肥育に関する試験、放牧飼育とケージ飼育並びにバ レイシヨサイレージとバレイヨ・ビートトップ混合サイレージの 比較	5	28	1962
吉田 晶二 ほか	バレイシヨの給与量を異にした豚の飼養試験	6	22	1963
米田 裕紀 ほか	自給生産粗飼料利用による肉豚の肥育試験 第1報 牧草サイレージの給与試験	7	14	1964
"	第5報 草サイレージ給与時における熱量補給試験	10	35	1967
"	肉豚肥育における自給生産飼料利用に関する研究 第2報 バレイシヨ磨砕サイレージの給与試験	8	11	1965
檜崎 昇 ほか	ラシアンコンフリーによる豚の飼育試験	9	32	1966
"	ラシアンコンフリーの豚による消化試験	10	36	1967
所 和暢 ほか	給与形態の相違が肉豚の発育並びに飼料の利用性に及ぼす影響	"	"	"
吉本 正 ほか	肉豚に対する廃液添加澱粉粕の利用性			

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	第1報 廃液添加澱粉粕の消化率	13	36	1970
米田 裕紀 ほか	第2報 廃液添加澱粉粕の肥育効果	"	"	"
所 和暢 ほか	第3報 その利用割合と油脂添加による栄養補正効果	14	36	1971
吉本 正 ほか	肉豚における穀実サイレージ(麦類)の利用性			
	第1報 麦の種類による消化率の差異	"	34	"
米田 裕紀 ほか	第2報 穀実サイレージ給与による肥育効果	"	35	"
宮川 浩輝 ほか	第3報 調製法の差異による肥育効果	"	"	"
米田 裕紀 ほか	第4報 穀実の含水率と消化率の差異	15	21	1972
宮川 浩輝 ほか	第5報 穀実サイレージの給与割合と肥育効果	"	22	"
米田 裕紀 ほか	第6報 えん麦・サイレージ給与における栄養補正の効果	16	17	1973
杉本 亘之 ほか	第6報 エンバクの穀実サイレージ調製時における加水及び	17	31	1974
	植物細胞膜崩壊酵素の添加が消化率に及ぼす影響			
杉本 亘之 ほか	養豚飼料への植物細胞膜崩壊酵素の添加が子豚の消化率に及ぼす影響	18	29	1975
"	馬鈴しよでん粉工業及びてん菜製糖工業廃液処理物の豚における飼料価値	"	47	"
阿部 登	繁殖豚に対する草サイレージ多給上の問題点	20	10	1977
杉本 亘之 ほか	てん菜製糖副産物の豚における飼料価値	"	11	"
穴井 秀一 ほか	豚に対する自給生産とうもろこしの利用法に関する研究	"	12	"
	3. 外皮付き雌穂サイレージの栄養価並びに飼養効果			
阿部 登	繁殖豚に対する草サイレージの多給, 2. 濃厚飼料依存度を50%にした場合	21	38	1978
杉本 亘之 ほか	肉豚におけるヒマワリ粕の利用性	"	48	"
所 和暢 ほか	肥育豚に対するカチオン液添加ビートパルプの肥育効果	"	49	"
杉本 亘之 ほか	肉豚に対する穀実類の給与方法	22	25	1979
"	豚における動物性油脂の給与が消化率, ふん中の化学成分及び血清中の総脂質とミネラル濃度に及ぼす影響	23 (1)	11	1980
秦 寛 ほか	肉豚におけるとうもろこしサイレージの採食性と, と殺時の諸形質	24 (1)	54	1981
杉本 亘之	豚に対するとうもろこしサイレージの飼料価値, 2. 品種別に調製したとうもろこしサイレージの消化率及び栄養価	"	"	"
○にわとり				
広瀬 可恒 ほか	抗生物質並びにビタミンB ₁₂ 添加飼養がひなの発育に及ぼす影響について	1952・秋	1	1952
山本 普也 ほか	抗生物質(オーロファック)添加によるひなの発育試験	1953・秋	17	1953
錦織 満 ほか	総合ビタミンB剤給与及び紫外線照射のひなにおける育成効果	1955・秋	24	1955
伊藤 孝 ほか	磨砕バレイシヨサイレージの調製並びに利用試験, III 磨砕バレイシヨサイレージの産卵効果	1956・春	20	1956
宮谷内留行 ほか	小麦胚芽及び鰾粕のプロイラー生産飼料としての適否に関する研究	1956・秋	14	"
"	プロイラー生産飼料に関する研究	1957・秋	22	1957
東原 徹 ほか	養鶏用飼料「グラス・フィッシュ」の効果	1958・春	8	1958
"	養鶏用飼料「グラス・フィッシュ」の効果	1	13	"
工藤 皓 ほか	S.M.S添加ビートトップサイレージの調製と種鶏に対する給与試験	1	18	"
児玉 浩 ほか	S.M.S添加サイレージ給与のにわとりに及ぼす影響	"	"	"
岡田 育穂 ほか	魚のあらを主原料とした養鶏用補助配合飼料の利用価値(I)	2	15	1959
渡辺 寛 ほか	魚のあらを主原料とした養鶏用補助配合飼料の利用価値(II)	"	16	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
東原 徹 ほか	リッチンリ्यूブル及びブルーサンサイレージ給与試験について	3	15	1960
内田 恒男 ほか	各種配合飼料によるブロイラー育成試験	4	17	1961
松本 久喜 ほか	ブロイラーにわたりの肥育比較試験	〃	〃	〃
錦織 満 ほか	市販配合飼料の種鶏に及ぼす影響	5	8	1962
北沢作治郎 ほか	発育卵の炭酸ガス排出	〃	9	〃
広瀬 可恒 ほか	ブロイラー生産に関する研究 第3報 エネルギー・蛋白質含量の異なる飼料による肥育試験	6	22	1963
関根純二郎 ほか	第4報 飼料中のエネルギー及び蛋白質含量の成長及び飼料効率に及ぼす影響	7	15	1964
市川 舜 ほか	ふ化時期の異なるにわたりの制限給餌について（予報）	11	31	1968
滝沢 寛禎 ほか	鶏ふんの化学的特性と利用法に関する研究 第1報 鶏ふんの生産量、化学成分の季節的消長について	19	41	1976
〃	第II報 鶏ふんの発酵処理について	20	9	1977
滝沢 寛禎	第III報 鶏ふん中のN,Pの行動について	21	31	1978
〃	第IV報 鶏ふんの再利用について	22	21	1979
梶崎 昇 ほか	馬鈴薯でん粉製造残渣乾燥物、いわゆるポテトプロフィールのにわとりにおける飼料価値	23 (1)	20	1980
○ その他				
鈴木 省三 ほか	家兎に対する無蛋白飼料給与法に関する一研究	1952・春	2	1952
植松 佳彦 ほか	ヌートリアの毛質向上に関する研究 第1報 冬期飼料についてし好性と体重えの影響	〃・秋	1	〃
関口 善一	蜜バチの自然推移に関する試験	〃	5	〃
〃	蜜バチの越冬に関する研究 第1報 越冬群の貯蜜結晶防止に関する試験	1953・春	6	1953
関口 喜一 ほか	第2報 越冬舎における蜜バチの越冬試験	1954・春	12	1954
〃	第3報 越冬群の貯蜜消費量に関する試験	1955・春	2	1955
鈴木 省三	家兎のカルシウム及びりん代謝に関する研究 III ふん中の内因性Ca及びPの量について	1953・春	7	1953
山本 晋也	飼料木（いたちはぎ及びとげなしにせあかしや）のうさぎにおける飼養研究	1954・秋	2	1954
関口 喜一 ほか	花粉給与が早春における蜜バチ群の育児に及ぼす影響について	1955・秋	32	1955
本橋 裕 ほか	小麦胚芽の栄養価値についての研究 第1報 シロネズミの発育に及ぼす影響	1956・春	17	1956
本橋 裕	草類のカロチノイドの利用度並びにその安定度に関する研究 第1報 アルファルファミール中のカロチン利用に対する小麦胚芽の影響	1956・秋	12	〃
佐藤 晶子 ほか	シロネズミ並びにハツカネズミの飼料の改良	〃	13	〃

(6) 生態・管理

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 一 般				
太田 三郎 ほか	牛豚の共同放牧における行動観察について	3	8	1960
山下 良弘 ほか	家畜の活動 (Behaviour) 調査法に関する研究	5	24	1962
西埜 進 ほか	畜舎内NH ₃ 濃度の日内変化	18	38	1975
近藤 誠司 ほか	放牧牛の占有面積から推定した群飼時の牛1頭当り必要面積	24 (1)	42	1981

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 乳 牛				
河野敬三郎 ほか	ミルカー使用による乳量及び乳質に及ぼす影響並びにその経済効果について	1952・春	10	1952
渡辺 馨 ほか	寒冷感作の発育に及ぼす影響	1953・春	16	1953
高野 信雄 ほか	牧草放牧地の利用に関する研究, 第4報 笹地更新における牧草の放牧利用試験, 1. 造成放牧地の植生と牛の日中活動	1954・秋	14	1954
桜井 允 ほか	I^{131} による甲状腺機能の測定法について	1956・秋	7	1956
高野 信雄 ほか	低生産草地の更新に関する研究, 第3報 各更新草地における乳牛のし好性と日中行動	1957・秋	26	1957
渡会 弘 ほか	笹地の牧草導入に関する研究 第4報 各導入草地における乳牛のし好性と日中行動	"	28	"
鈴木 省三 ほか	乳牛の乳区別搾乳試験	5	12	1963
遠藤 清司 ほか	ミルカー使用の実態調査結果について	"	16	"
和泉 康史 ほか	乳牛に対する飼料給与回数に関する研究 第1報 若雌牛に対するサイレージ給与回数と採食量との関係	6	24	1963
"	第2報 若雌牛の増体に及ぼす飼料給与回数の影響について	7	7	1964
石栗 敏機 ほか	放牧における乳牛の採食行動に及ぼす追肥の効果について	"	40	"
吉井 邦雄 ほか	乳牛の排泄生態について	"	7	"
森田 幸務 ほか	2回搾乳における搾乳時間間隔について, 第1報 泌乳量, 乳成分に及ぼす影響	"	33	"
新出 陽三 ほか	乳牛に対する摂食行動の連続記録装置	8	19	1965
佐藤 明 ほか	北海道における乳牛を主とした酪農経営に関する研究 第5報 冬期における乳牛の機械運動について	"	32	"
鈴木 健二 ほか	北海道における現代的畜舎の管理	"	33	"
工藤 吉夫 ほか	冬期における乳牛のルースハウジング方式による飼養法が体重, 乳量, 生態行動に及ぼす影響	"	"	"
岩崎 薫 ほか	ミルカーの作動台数と搾乳作業並びに搾乳時間との関係	9	43	1966
塚本 達 ほか	濃厚飼料の形状及び水の添加量が乳牛の採食速度と搾乳速度に与える影響	10	19	1967
曾根 章夫 ほか	フリーストールバーンによる省力管理法に関する試験 (1-1) 乳牛の生態行動に及ぼす寒冷の影響	"	20	"
目谷 義大	(2-1) ボロ出し作業上の問題点について	"	21	"
曾根 章夫 ほか	第2報 休息舎内ストールの選択状況について	11	12	1968
石井 格 ほか	新しい型のミルカー(HP 87)による搾乳について	10	30	1967
永沢 博敏 ほか	幼令子牛の摂食行動	"	14	"
蒔田 秀夫 ほか	乳用子牛の早期集団放牧育成法に関する試験, 第3報 乳用子牛の群飼育期における濃厚飼料の摂取速度	13	27	1970
曾根 章夫 ほか	ヘリングボーン型ミルキングパーラーの搾乳能率について	"	40	"
新出 陽三	搾乳環境の変化に対する乳牛の適応について	"	42	"
藤田 保	大規模草地における家畜管理技術に関する調査, 第1報 放牧牛の発育と入牧基準月令に関する知見	14	9	1971
西埜 進	離乳子牛の自由飲水量並びに水の排泄量に及ぼす飲水温度の影響	"	17	"
新出 陽三 ほか	等間隔搾乳における搾乳時刻と乳量及び乳脂率との関係について	"	27	"
曾根 章夫 ほか	フリーストールバーンにおけるマット及び鋸屑の敷料効果につ	"	29	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	いて			
鈴木 省三 ほか	乳牛の採食速度と咀嚼しやく活動との関係	15	13	1972
曾根 章夫 ほか	ストールバーンにおけるカウマットの敷料効果について	"	49	"
西埜 進	牛ふん臭気の経時変化	16	25	1973
大久保正彦 ほか	酪農経営の規模拡大に伴う搾牛作業の実態と問題点	"	27	"
岡田 迪徳 ほか	バルククーラー設置環境調査	"	28	"
溝 浩 ほか	週1〜2回搾乳停止の牛乳生産に及ぼす影響	17	27	1974
新出 陽三	不均衡隔搾乳における午前と午後の乳量の差異について	"	28	"
左 久 ほか	ルース・ハウジングに飼養する乳牛の行動			
	I 休息舎内の横臥位置と方向	"	33	"
鈴木 省三 ほか	II 輪換放牧時の先導・後続関係	"	34	"
中島 三博 ほか	集団は育乳用子牛の行動と発育	19	31	1976
榎本 博司 ほか	乳牛舎施設の設計に関連する牛体測定値について	"	34	"
新出 陽三 ほか	乳牛の乳房における乳汁の貯溜状態について	"	35	"
大久保正彦 ほか	搾乳作業能率を左右する要因について	"	37	"
沢村 浩 ほか	牛ふん尿を散布した草地における牛の行動	"	38	"
土井寿美男 ほか	搾乳処理機器の細菌汚染とその低温細菌叢の検索	20	24	1977
曾根 章夫 ほか	恒温給湯装置による寒冷期の温水給与が産乳に及ぼす影響	"	34	"
埴山 幸夫 ほか	搾乳牛の晩秋放牧に関する試験	"	35	"
三島 哲夫 ほか	群飼育における給餌スペースの減少が搾乳牛の採食行動に及ぼす影響	"	36	"
工藤 吉夫 ほか	乳房清拭後ミルクカー装着までの経過時間と牛乳生産並びに搾乳性	"	37	"
左 久 ほか	ルースハウジングにおける乳牛群の序列	21	12	1978
今泉英太郎 ほか	1日1回、低温、定量は乳、1週1日は乳休止による早期離乳が子牛の成長に及ぼす影響	"	14	"
近藤 誠司 ほか	放し飼い牛舎における牛群の行動、とくに牛舎内における牛群の分布について	22	14	1979
藤田 裕 ほか	低温環境下における乳牛の生産生理反応の変化について	"	15	"
糟谷 泰 ほか	冬期間の畜舎環境に関する調査試験			
	I 断熱・換気の改修による舎内環境の改善効果(古い乳牛舎での例)	"	16	"
"	II 新しい断熱・換気設計によって建築したローコスト牛舎の舎内環境	23 (1)	24	1980
糟谷 泰	III パイプ配管による換気方式をとり入れた牛舎の舎内環境	24 (1)	40	1981
曾根 章夫 ほか	寒冷地における畜舎環境の改善に関する研究			
	I 寒冷環境が子牛の行動と発育に及ぼす影響	22	17	1978
岡田 迪徳 ほか	パイプラインミルクカーの衛生状態調査	"	30	"
岡本 全弘 ほか	模型子牛による寒冷環境下の放熱状態・解析の可能性(予報)	23 (1)	25	1980
佐藤 文俊 ほか	トウモロコシサイレージの自動給飼機利用方式の実態調査	"	"	"
左 久 ほか	搾乳施設内における乳牛の排泄行動	"	26	"
近藤 誠司 ほか	搾乳牛群と育成牛群における先導・後続行動について	"	"	"
池瀧 孝 ほか	カーフハッチを用いた子牛の発育及び行動に関する研究	"	27	"
	I 飼育季節が増体、飼料利用性に及ぼす影響			
干場 信司 ほか	カーフハッチにおける子牛の行動	"	28	"
	(1) 子牛の行動の自動記録方法	"	"	"
曾根 章夫 ほか	(2) 冬期の気象環境と子牛の行動	"	"	"
鈴木 省三 ほか	乳牛に対する全飼料配合給与方法に関する研究	"	30	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	2. 全飼料配合給与時の採食行動			
木下 善之 ほか	新生子牛の体温、心拍・呼吸数の変動	24 (1)	36	1981
杉原 敏弘 ほか	ほ乳子牛の発育に及ぼす飼育環境の影響	"	37	"
岡本 全弘 ほか	寒冷環境と温暖環境で育成した子牛の被毛の性状について	"	38	"
曾根 章夫 ほか	カーフハッチと連鎖式カーフベンにおける温度環境と子牛の行動	"	"	"
干場 信司 ほか	カーフハッチの夏期における熱的環境	"	39	"
池滝 孝 ほか	個体別飼料自動給与装置に対する乳牛の行動	"	40	"
三島 哲夫 ほか	濃厚飼料の電子制御式給餌装置における搾乳牛の採食行動とその産乳に及ぼす影響	"	41	"
○ 肉用牛				
太田 三郎 ほか	放し飼い方式畜舎における冬期肉牛の行動観察について	6	24	1963
細野 信夫 ほか	肉牛の寒冷期間飼養法に関する研究			
	(予報1) 簡易開放畜舎と温暖畜舎における妊娠牛飼養成績	7	12	1964
"	(予報2) 乾牧草堆積法と温暖畜舎における分娩授乳牛、哺乳子牛の飼養成績	"	13	"
塚本 達 ほか	乳用雄子牛の肉利用に関する試験(第1報)	8	13	1965
細野 信夫 ほか	肉用牛の越冬飼養に関する試験、予報、舎外飼育が経済的飼養に及ぼす影響	10	16	1967
左 久 ほか	ホルスタイン種去勢牛の仕上げ肥育期の摂取行動	13	28	1970
細野 信夫 ほか	積雪寒冷地帯における肉用牛の簡易越冬に関する試験	15	35	1972
渡辺 寛 ほか	牧欄に関する研究			
	第1報 放牧牛の脱欄行動	19	25	1976
"	第2報 架線の引張力、支柱間隔とふれ止めの相互関連	"	26	"
吉田 悟 ほか	肉用牛の大規模繁殖経営における集団飼養技術に関する試験			
	1. 肉牛の行動 (1) 舎飼期における肉用牛の採食行動	"	28	"
干場 信司 ほか	1. 肉牛の行動 (2) 簡易越冬施設の利用状況と自然環境	"	29	"
吉田 悟 ほか	1. 肉牛の行動 (4) 放牧前後の行動	20	30	1977
○ めん羊				
高野 信男 ほか	環境因子がめん羊の毛質・毛量並びに栄養状態に及ぼす影響について			
	第1報 夏期因子の影響	1953・春	8	1953
"	第2報 冬期因子がめん羊の栄養に及ぼす影響について	1954・春	6	1954
美斉津康民 ほか	第3報 夏期因子の羊毛に及ぼす影響について	"	7	"
早川 政市 ほか	第4報 環境温・湿度の変化が放牧めん羊の栄養生理状態に及ぼす影響	"・秋	20	"
釣谷 猛 ほか	第5報 夏季環境因子がめん羊の日中活動及び採食栄養量に及ぼす影響について	"	21	"
岡田 育穂 ほか	輸入めん羊の輸入後における毛質の変化に関する研究	1955・秋	23	1955
	第1報 織度の変化について			
近藤 知彦	子めん羊の去勢時期が去勢後の発育並びに生産する肉量、肉質に及ぼす影響	1956・春	15	1956
田中 誠治 ほか	輸入めん羊の輸入後の毛質の変化について、第2報 羊毛の伸長度と強力の変化	1957・秋	7	1957
松本 久喜 ほか	根室野付崎における放牧めん羊の実態	1958・春	6	1958
武田 功 ほか	環境に伴うめん羊血液成分の2,3の変化	2	5	1959
荒 智 ほか	高温環境下のめん羊の生体反応に及ぼすルーメン内容の意義	8	35	1965

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
左 久 ほか	脈波に現われためん羊の刺激に対する反応	15	10	1972
西 埜 進 ほか	めん羊のちっ素排泄量、ふん尿のニオイとアンモニア濃度に対する乾草及び配合飼料の影響	17	32	1974
寒河江洋一郎ほか	ほ乳期子羊の日中放牧行動について	18	37	1975
〃	ほ乳期子羊の日中放牧行動について、双子の場合	19	32	1976
斉藤 利朗 ほか	子羊の吸乳回数・吸乳時間及び吸乳量に関する調査	〃	〃	〃
前田 善夫 ほか	環境温度の変化と血清マグネシウム及び尿中へのマグネシウム排泄量	20	17	1977
寒河江洋一郎ほか	乳期子羊の日中放牧行動について一双子の場合（その2）一	〃	29	〃
〃	放牧施設（水・塩・日陰）の有無が離乳子羊の増体と産肉性に及ぼす影響	21	11	1978
〃	野犬対策としての羊の日中放牧について	22	15	1979
○ 豚				
阿部 登 ほか	ほ乳子豚の保温育成試験 第1報 電熱コンクリートマット方式による豚の保温育成について	5	28	1962
〃	第2報	6	32	1963
西部 慎三 ほか	保温板利用による子豚の育成について	〃	〃	〃
堅田 彰 ほか	豚の肥育に対する寒冷の影響	7	14	1964
所 和暢 ほか	肉豚の管理方式に関する研究 第1報 放飼による肉豚の肥育試験	8	10	1965
〃	第2報 寒冷地における簡易ビニール豚舎による肉豚の肥育試験	〃	〃	〃
今泉英太郎 ほか	肥育豚に対する寒冷の影響	〃	12	〃
中嶋 実 ほか	幼豚飼養管理の研究（第1報）	〃	39	〃
西部 慎三 ほか	寒冷地の豚舎保温に関する一考察	9	30	1966
所 和暢 ほか	寒冷地における簡易ビニール豚舎による肉豚の肥育試験 第2報 現行木造床コンクリート腰ブロック豚舎との発育比較について	〃	31	〃
糟谷 泰 ほか	離乳子豚に対する保温の効果について	10	34	1967
宮谷内留行 ほか	寒冷環境温度差が肥育豚の発育に及ぼす影響について	〃	35	〃
左 久 ほか	豚に対する時間制限給飼（予報）	11	20	1968
宮谷内留行 ほか	寒冷期における豚舎保温方法の改善について	〃	〃	〃
糟谷 泰 ほか	豚の冬期保温方式に関する研究 第2報 肉豚に対する保温の効果について	〃	21	〃
〃	第3報 離乳日令の相異と保温効果の関連について	13	37	1970
所 和暢 ほか	繁殖豚の管理方式に関する試験 分娩柵及び分娩枠利用による自然分娩について	11	23	1968
所 和暢	Triosorb Test による肥育豚の甲状腺機能と品種、季節、飼養環境及び成長との関係	16	18	1973
所 和暢 ほか	低温域における環境条件と肉豚の発育、飼料効率との関係 III 日内温度変動の影響	19	33	1976
○にわとり				
市川 舜	北海道におけるにわとりのケージ飼育	4	18	1961
市川 舜 ほか	北海道におけるにわとりのケージ飼育（第2報）	5	6	1962
〃	北海道におけるにわとりのケージ飼育（第3報）	6	29	1963
〃	北海道におけるにわとりのケージ飼育（第5報）	8	7	1965
渡辺 寛 ほか	ケージ飼養試験、第1報 鶏舎内温度が異なる寒暖2つの鶏舎	5	5	1962

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	における採卵鶏の飼養試験			
錦織 満 ほか	単飼ケージによる産卵鶏の飼育試験	5	5	1962
高橋 武 ほか	寒冷地におけるプロバンガスブルーダによる育雛試験	"	7	"
鈴木 省三 ほか	冬期間の鶏舎環境と収容羽数との関係	6	29	1963
渡辺 寛 ほか	ブロイラー平飼育成方式に関する試験	"	30	"
"	簡易鶏舎における産卵鶏の飼養試験	7	16	1964
"	産卵鶏の平飼いに関する試験	"	7	"
藤田 裕 ほか	幼雛の摂食パターンについて	10	32	1967
朝日田康司	幼雛の採食行動の日変動について	"	32	"
渡辺 寛 ほか	1月ふ化の採卵用ひなに対する育成中の光線管理、制限給餌がにわとりの体重、性成熟、産卵に及ぼす影響について	11	31	1968
吉野 洋 ほか	にわとりの能力と環境との関連性について	13	38	1970
市川 舜 ほか	北海道における家鶏の野外飼育について	"	"	"
丹代 建男 ほか	無窓ケージ鶏舎（排気式）の環境調査について	14	42	1971
三上 勝 ほか	寒地における産卵鶏の屋外飼育について、(3)	17	26	1974
市川 舜 ほか	にわとりの年令と飼養環境による血清成分血糖量などの変化	23 (1)	23	1980
小関 忠雄 ほか	育成期の給与時間制限が産卵に及ぼす影響	24 (1)	51	1981
上田 純治 ほか	光周期の変化がにわとりの肝臓、腎臓、脾臓の酸性ホスファターゼ活性に及ぼす影響	"	53	"
○ その他				
関口 喜一	蜜バチ群の輸送に関する試験	1953・ 秋	7	1953
錦織 満 ほか	低温がアングラ兔の毛量等に及ぼす影響について	"	19	"
"	第1報	"	19	"
"	第2報 毛質とくに破壊張力及び伸度について	1954・ 春	17	1954
関口 喜一 ほか	交換養蜂に関する研究	"		
"	第3報 北送群の収蜜及び増殖成績	" ・ 秋	11	"
関口 喜一 ほか	第4報 蜜バチ群の輸送法に関する試験	1	8	1958
植松 佳彦 ほか	ヌートリヤの温度感作に対する抵抗性としての副腎皮質機能について	"	19	"
松本 久喜 ほか	家畜の耐寒性に関する基礎的研究、(1) 急激な寒冷刺激に対する天竺ネズミ、ラット、マウスの甲状腺機能の反応	1956・ 秋	7	1956
関口 喜一 ほか	ビニール利用による蜜バチ群の早期増殖に関する試験（予報）	"	15	"
細野 信夫 ほか	種蜂の越冬試験について	1957・ 春	8	1957
岡田 清 ほか	寒冷曝露のThyrotropin放出に及ぼす影響について	11	25	1968

(7) 家畜衛生

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
藤野 安彦 ほか	血尿牛の調査結果について	1952・ 春	7	1952
難波 直樹	北海道の牧野におけるマダニ類の分布に関する調査	1953・ 春	11	1953
	第1報 根室地方、主として野付半島のマダニ類について	"		
坪松 戒三 ほか	乳牛の産褥性血色素尿症に関する研究	"	16	"
難波 直樹	草地におけるマダニ幼虫の日中活動について	" ・ 秋	7	"
坪松 戒三	牛の無機物代謝に関する研究、その産褥性血色素尿症発症に関するリン酸の意義について	"	11	"
松本 久喜 ほか	馬のミオグロビン尿に関する実験	"	16	"
難波 直樹	マダニの行動、とくに幼虫の温・湿度選好域について	1954・ 春	4	1954

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
難波 直樹	マダニの酪酸臭に対する反応について	1954・ 秋	4	1954
草地 良作 ほか	馬の心電図について	"	17	"
難波 直樹	牧野におけるマダニの生態学的研究			
	第V報 マダニの棲息場所のありかたについて	1955・ 春	1	1955
"	第VI報 未吸血マダニの棲息場所の求め方とその拡がり方について	"	"	"
"	第VII報 熱・光・嗅の連合刺激に対する行動	"・ 秋	21	"
岡田 育穂 ほか	馬のミオグロビン尿に関する一考察	1956・ 秋	10	1956
難波 直樹 ほか	牧野におけるマダニの防除に関する研究			
	1. 放牧地に対する薬剤散布による防除試験	1956・ 秋	15	1956
難波 直樹	2. Y-BHC (1.5%) 散布による防除試験	1957・ 秋	30	1957
"	忌避剤の家畜害虫に対する効果並びに乳量に及ぼす影響	2	4	1959
"	家畜寄生ダニに対する殺虫剤の効果	3	4	1960
"	ダニに対する殺虫剤の実用価値について	4	5	1961
細野 信夫 ほか	デキストラン鉄剤の子豚貧血に対する効果について	"	14	"
西埜 進 ほか	ミルクによる乳房炎の防除対策確立に関する研究	5	15	1962
	第1報 乳房炎発生の実態調査			
難波 直樹	草地におけるマダニの発生防止に関する研究			
	第1報 肥料、除草剤の殺虫力及び肥料・農薬との混合散布による効果	"	24	"
"	第2報 火入れ効果についての検討	6	33	1963
谷口 隆一 ほか	根室地域におけるマダニの種類と発生消長について	7	22	1964
祐川金次郎 ほか	牛乳の抗体蛋白質に関する研究, 第4報 初乳の免疫学的意義	7	37	1964
難波 直樹 ほか	低毒性有機りん剤スミチオンの家畜に対する毒性試験	8	38	1965
"	環境改変によるダニの防除に関する研究, 第1報 湿度とダニの生理的關係	9	39	1966
谷口 隆一 ほか	放牧牛の内部寄生虫に関する試験, 第1報 若令牛における消化管内線虫の種類別感染消長について	10	13	1967
湯浅 亮	乳牛におけるグロクロン酸代謝			
	実験動物に対する各種グロクロナイド産生薬物投与の影響(予報)	13	20	1970
"	肝におけるグルクロナイドの生成及び分解酵素について(予報)	14	23	1971
鈴木慎二郎 ほか	育成牛の発育に及ぼす飛来昆虫と寄生虫の影響について	13	29	1970
渡岸 裕光 ほか	A養豚場における疾病発生の状況と肥育成績	14	38	1971
三宅 勝	乾乳時乳房内薬剤注入による牛乳房炎予防並びに治療試験, 2. 3年間継続実施中の1牛群における乳質改善並びに乳量増加について	15	46	1972
祐川金次郎 ほか	免疫グロブリンの安定性と抗体活性について	21	25	1978
松井 幸夫 ほか	めん羊の消化器系アスペルギルス症の例	22	17	1979
工藤 規雄 ほか	有珠山噴火が野生鳥獣の生体に及ぼす影響の比較医学的研究	22	18	1979
松井 幸夫 ほか	乳牛胃炎病組織より分離された <i>Aspergillus tubingensis</i> について	24 (1)	29	1981
高橋 潤一 ほか	亜硝酸塩中毒に関する研究, 8. 牧草の硝酸塩含量の違いが <i>in vitro</i> VFA 産生に及ぼす影響	24 (1)	48	1981

(8) 畜産物利用

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○ 一 般				
祐川金次郎 ほか	脱酸素剤による畜産物の保存効果	18	43	1975
○乳・乳製品				
大原 久友 ほか	牛乳脂肪中のカロチンとビタミンA含量について(Ⅱ)	1952・春	6	1952
佐藤 雅彦 ほか	小規模バター製造の改良研究, 第1報 手回しチャーンによる バター製造について	"	12	"
森本 明 ほか	脱脂乳チーズの製造改良について, 第1報 グリーンチーズの 製造について	"	13	"
有馬俊六郎 ほか	初乳に関する研究(予報)	"	16	"
志賀 勝治 ほか	カゼインの化学的分割について	"	"	"
曾根 敏 ほか	バター製造工程における脂肪球の顕微鏡的観察	1952・秋	6	"
前野 正久 ほか	ケフィヤ製造研究(予報)	"	"	"
斉藤 公三 ほか	札幌付近における牛乳中の細菌及び大腸菌の出現頻度について (予報)	"	7	"
前野 正久 ほか	アイソトープ追跡による乳房内乳汁, カゼインの合成機構に関 する研究, 第1報 石灰の結合状態について	1953・春	13	1953
斉藤 善一 ほか	低酸度酒精不安定乳のアセトン体及びクエン酸含量	"	"	"
穴釜 雄三	牛乳及び乳製品のビタミンCに関する研究, 第14報 牛乳の ビタミンC含量に及ぼす季節の影響について	"	14	"
有馬俊六郎 ほか	牛乳の防腐について	"	"	"
大浦 義教 ほか	凍結牛乳について(第1報)	"	"	"
佐藤 雅彦 ほか	市乳びん装時におけるカード付着現象について	"	15	"
志賀 勝治 ほか	脱脂乳の利用に関する研究 第3報	"	"	"
前野 正久 ほか	第4報 乳糖の製造その他について	"・秋	2	"
佐藤 雅彦 ほか	第5報 異脂肪チーズの熟成促進について	1955・秋	12	1955
大浦 義教 ほか	クリーム脂肪検定用リーディングオイルについて	"	"	"
佐々木幹夫 ほか	製品バターの組織及び水分含量に及ぼすプリンティングの影響 について	"	15	"
斉藤 善一 ほか	低酸度酒精不安定乳に関する研究, 第3報 八雲地方における 該乳について	1953・秋	1	1953
永江 純孝	プロセスチーズの赤変現象について, 第1報 チーズカラーの 呈色性	"	1~2	"
野田 繁	遠心分離機に関する研究 第1報	1953・秋	2	1953
"	第2報	1954・春	13	1954
林 弘通 ほか	小型バキュームパンの性能に関する研究	"	3	"
大浦 義教 ほか	北海道における原料牛乳の組成について(予報)	"	5	"
東海林英雄 ほか	脱脂乳の脂肪定量法について(第2報)	"	10	"
工藤 雄弘 ほか	脂肪球の浮上について	"	13	"
前野 正久 ほか	脱脂粉乳及びバターミルク利用による新製品の製造について	1954・秋	31	"
"	製乳容器の各種殺菌剤の力価について	"	"	"
前野 正久 ほか	牛乳及び乳製品中の放射能について	"	32	"
中西 久二 ほか	牛乳の脂肪率と蛋白質含有率との関係について(予報)	1955・春	9	1955
森本 明 ほか	馬血清中の牛乳レンニン凝固抑制物質について	"	"	"
大浦 義教 ほか	2等乳に関する調査(第1報)	"	10	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
西部 慎三 ほか	乳質に関する研究, 予報 北農試畜産部牛乳の性状について	1955・春	11	1955
森本 明 ほか	原料乳の鮮度保持に関する研究	1955・秋	7	"
妙田 俊夫 ほか	原料乳汚染実態に関する菌学的考察	"	8	"
小野 一徳 ほか	1等乳の実態調査(第1報)	"	10	"
有馬俊六郎 ほか	乳蛋白の結合性について, 1) Clの結合	1956・春	3	1956
石岡 要造 ほか	ソフトカードミルク製造に関する研究, カルシウム, マグネシウム残存量による均質乳, 不均質乳のカードテンションの算出法	"	13	"
佐々木幹夫 ほか	乳及び乳製品の分析試験上の各考察			
"	1) 乳固形定量法に関する考察	"	14	"
"	2) 高脂肪率乳の脂肪定量に関する考察	"		
手島 良治 ほか	3) バター中の空気量に対する考察(予報)	1956・秋	9	"
遊佐 孝五	乳汁中カゼイン粒子の形態とその変性に関する研究	"	"	"
	IV 均質化及び凍結による影響			
有馬俊六郎 ほか	乳房炎乳に関する研究, 1. 乳成分変化について	"	"	"
菊地 栄一	粉乳中の揮発性臭気成分について	1957・春	1	1957
田中慎一郎 ほか	ジャージー牛乳に関する調査研究について(第1報)	"	3	"
大浦 義教 ほか	" (第2報)	1957・秋	11	"
大浦 義教 ほか	市乳原料乳の品質について	1957・春	4	"
土屋 禎造 ほか	市乳洗瓶殺菌機の改良試験に関する研究	"	7	"
有馬俊六郎 ほか	乳蛋白の結合性に関する研究, II Casein 溶液の加熱による還元性と電気伝導度の変化について	"	9	"
大浦 義教 ほか	北海道原料乳質に関する研究について(第2報)	"	13	"
"	" (第3報)	"・秋	9	"
林 弘通 ほか	高圧噴霧ノズルによる液滴微粒化に関する研究	"・春	20	"
板垣 信之	乳成分の不均衡	"	25	"
有馬俊六郎 ほか	市乳に関する研究, 加熱処理における脂肪吸着物質への影響	1957・秋	10	"
河野敬三郎	ジャージー系乳牛の乳脂率について	"	"	"
森本 明 ほか	牛乳レンニン凝固の電子顕微鏡による観察	"	14	"
林 弘通 ほか	ゴータチーズ製造工程中の物理的性質に関する研究	"	"	"
	第1報 バット内プレス時まで			
石岡 要造 ほか	乳製品の粘稠度に関する研究, マジョニア粘稠度計の解析と絶対粘度の算出	1957・秋	17	1957
祐川金次郎 ほか	異常クリームに関する研究	1958・春	11	1958
橋本 吉雄 ほか	生乳中の遊離脂肪酸量について	"	12	"
田中慎一郎 ほか	標準比色表による Resazurin test の判定について	"	"	"
斉藤 寿郎 ほか	ホワイトサイドテストと細胞数について	"	13	"
笹出 右村 ほか	加塩並びに無塩バターの保存中における微生物の消長について	"	14	"
新谷 新一 ほか	Metal churn の Working 法及び保存条件によるバターの水分分散, 硬度, 展開の変化について	"	17	"
手島 良治 ほか	生乳の Staphy. aureus 発育抑制作用について, III	1	23	"
森本 明	St. lactis 並びに Lact. bulgaricus の Penicillin, Streptomycin 及び Acromycin に対する感受性並びに耐性獲得について	"	24	"
斉藤 善一 ほか	チーズの熟成に関する研究, 第1報 ブリックチーズの熟成に及ぼすライフアン被覆の影響について	1	25	1958
有馬俊六郎 ほか	ビート類給与の Rennet clotting に及ぼす影響について(予報) ビート各部位汁液添加の影響	"	26	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
三河 勝彦 ほか	Starter に関する研究, 乳酸菌の共棲条件について	2	12	1959
斉藤 善一 ほか	牛乳中のトリメチルアミンに関する研究, 第1報 定量法並びにビートトップ給与による影響	3	17	1960
大浦 義教 ほか	細胞数過多異常乳に関する研究(第1報)	"	18	"
金 栄教 ほか	生乳の酒精検査についての一考察	4	25	1961
三河 勝彦 ほか	Disc Assay による生乳及び殺菌乳の Antibiotics の検出	"	"	"
森本 明 ほか	バブコック乳脂検定法の検討	"	"	"
野川 浩道 ほか	十勝管内における酪農家の生乳取扱い状況について	"	"	"
入江 俊三 ほか	道南地方の2等乳について	"	26	"
土屋 禎造 ほか	牛乳の保存に関する研究, 第1報 防腐剤の効力試験について	"	27	"
仁木 良哉 ほか	凍結乳に関する研究(第1報)	"	"	"
林 弘通 ほか	粉乳の噴霧乾燥機構に関する研究, (III) 脱脂粉乳の物理的性質について	"	"	"
祐川金次郎 ほか	粉乳の溶解性に関する研究	"	28	"
遊佐 孝五	カゼイン粒子の形態と基変性に関する研究, V アイスクリームミックスの加熱並びに均質化の影響	"	"	"
浜本 典男 ほか	チーズ・スターターに関する研究, 第II報 チーズ・スターター, チーズ・ミルク及びチーズより分離したヘテロ発酵型乳酸球菌について	"	29	"
斉藤 善一 ほか	ビートトップサイレージの多量給与が乳汁のカードテンション及びトリメチルアミンに及ぼす影響について	5	17	1962
土屋 禎造 ほか	乳固型分簡易測定法について(予報)	"	18	"
斉藤 善一 ほか	紫外線吸収法による牛乳蛋白の定量(予報)	"	19	"
入江 俊三 ほか	北海道における原料乳組成に関する研究	5	"	"
大浦 義教 ほか	バブコック公式による地区別無脂固形分率について	"	20	"
金 栄教 ほか	無脂固形測定におけるGolding Plastic Beads 法と公定法の比較について(予報)	"	"	"
大浦 義教 ほか	原料乳の組成の変動について	"	"	"
森本 明 ほか	宗谷及び松山地方の冬期間2等乳について	"	21	"
吉田 繁 ほか	バブコック乳脂検定法の検討	"	"	"
斉藤 善一 ほか	カゼインのCa-Sensitivity 及び粘度に及ぼす加熱処理の影響について	6	34	1963
遊佐 孝五 ほか	乳汁の電子顕微鏡用標本の調製法について	"	36	"
三河 勝彦 ほか	特にレプリカ法, 噴霧法による観察	"	"	"
入江 俊三 ほか	乳及び乳製品の安定性とクエン酸に関する研究, 第1報 定量法, とくに除蛋白操作について	"	37	"
土屋 禎造 ほか	脱脂乳培地の加熱が乳酸菌スターターの活性度に及ぼす影響	"	"	"
大浦 義教 ほか	一乳期間における乳成分の変動について	"	38	"
神木 寿一 ほか	原料乳の無脂乳固形分の簡易定量法に関する研究	"	"	"
末永 保子 ほか	第1報 Golding plastic beads と公定法との相関並びにそれに及ぼす因子について	"	"	"
大浦 義教 ほか	第5報 Golding plastic beads 法	7	31	1964
行徳 晴美 ほか	第6報 アミドブラック法	"	"	"
	原料乳の乳蛋白の簡易定量法に関する研究	"	"	"
	第1報 アミドブラック法による乳蛋白比色定量法の検討について	6	39	1963
	第2報 アミドブラック法による乳蛋白比色定量法の応用について	"	40	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
遊佐 孝五 ほか	乳固形分簡易測定法について	7	30	1964
大浦 義教 ほか	北海道における原料乳の組成に関する研究 第1報 乳蛋白率の分布及び変動について	"	32	"
入江 俊三 ほか	第2報 脂肪及び蛋白の年間における分布並びに変動	8	27	1965
入江 俊三 ほか	原料乳質の日々の変動について(第1報)	7	34	1964
安藤 功一 ほか	乳汁の安定性とクエン酸に関する研究, 除蛋白方法の確認について	"	35	"
岡田 迪徳 ほか	伝染性下痢罹患牛の乳質についての一所見	"	"	"
山内 隆陽 ほか	異常乳に関する調査研究, 八雲町の夏期2等乳について	"	36	"
大場 峻 ほか	ミルク-の利用に関する調査試験, 中・東部十勝地域の使用状況について	"	37	"
森本 明 ほか	牛乳酵素凝固の際の凝固曲線について(予報)	"	38	"
三河 勝彦 ほか	牛乳の保存性に関する研究, 第1報 冷蔵による乳質の変化について	"	"	"
遊佐 孝五 ほか	牛乳中のクエン酸に関する研究, Sephadex, G-100 による蛋白質及びクエン酸の溶出	8	25	1965
池添 博彦 ほか	牛乳中のりん脂質について(薄層クロマトグラフィーによる定量法の検討)	"	26	"
相馬 克人 ほか	牛乳中の遊離イノシトールの定量について	"	27	"
山崎 昶 ほか	北海道における産乳量の季節的変動に関する統計的研究	8	28	"
三浦 弘之 ほか	牛乳中の好冷細菌に関する基礎的研究(予報)	"	29	"
祐川金次郎	原料乳各成分間の相関について	"	31	"
笹野 貢 ほか	原料乳質格付検査法の改善に関する研究 第2報 TMSテスターの精度について	9	45	1966
長南 隆夫 ほか	第6報 ミルク・チエッカの精度及び実用性	18	42	1975
笹野 貢 ほか	第8報 TMSチエッカの精度及び実用性	20	24	1977
大場 峻 ほか	乳牛多頭数飼育農家における異常乳調査について	9	46	1966
山内 隆陽 ほか	根室地方の冬期異常乳の乳質について	"	47	"
"	原料乳中の抗菌性物質検出について	"	48	"
梅本 俊夫 ほか	牛乳スフィンゴミエリンの組成について	"	"	"
安藤 功一 ほか	牛乳中のカルシウム簡易定量法について	"	49	"
有馬俊六郎 ほか	チーズ製造法の一変法(凝固調整とカード張力)	"	"	"
三上 正幸 ほか	カゼインのレンニンによる変化(主としてスターチゲル電気泳動法による追求)	"	50	"
小野寺靖彦 ほか	個体牛の乳房区における牛乳組成について	10	29	1967
佐伯 徹 ほか	牛乳中のスフィンゴ脂質について	"	30	"
加藤 勲 ほか	輸入カゼインの性状について	11	18	1968
藤島 利夫 ほか	ブルーチーズの脂質について	13	32	1970
笹野 貢 ほか	北海道における最近の生乳成分について	"	32	"
大浦 義教 ほか	モデル地域を対象とした生乳の無脂固形分格付方法の検討	"	34	"
安藤 功一 ほか	カゼインミセルの形態構造に関する研究, IV ゲル濾過による検索	14	48	1971
笹野 貢 ほか	T.T.C法に関する研究について(第1報)	"	50	"
祐川金次郎 ほか	でん粉廃液散布牧草摂取牛の乳質及び牛体に及ぼす影響について (1)	15	25	1972
三上 正幸 ほか	micellar caseinとsoluble casein 中の γ -カゼインについて	"	36	"
安藤 功一 ほか	カゼインミセルの形態構造に関する研究, IV ミセル構成微粒	"	37	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ペー ジ	年 次
	子の分離方法			
有馬俊六郎 ほか	レンニン不溶化への試み	15	38	1972
高橋 健 ほか	加糖れん乳の各種保存温度における流動性の変化	"	39	"
笹野 貢 ほか	北海道における最近の生乳成分について	"	44	"
矢部 輝夫 ほか	バルククーラー乳の乳質実態調査	"	45	"
笹野 貢 ほか	レサズリン還元試験法に関する試験	16	29	1973
安藤 功一 ほか	カゼインミセルの形態構造に関する研究, VII 温度の影響	17	22	1974
山田 稔 ほか	初乳の脂質成分の変化について	"	23	"
高橋セツ子 ほか	でん粉廃液散布による乳質への影響	"	24	"
新出 陽三 ほか	乳成分の季節による変動について	18	21	1975
安藤 功一 ほか	乳酸菌の蛋白分解作用に関する研究	"	40	"
熊野 康隆 ほか	I g G l のレンニンとペプシンによる消化-酵素消化物の抗原性について-	"	41	"
有賀 秀子 ほか	酪農用水、牛乳及び人乳中の硝酸・亜硝酸含量について (第2報)	19	57	1976
片山 利為 ほか	生乳の低温保存による細菌数の変化	"	57	"
笹野 貢 ほか	北海道における最近の生乳成分について	"	58	"
山田 稔 ほか	乳房炎における脂質成分について	"	59	"
祐川金次郎 ほか	北海道における生乳成分とその相関について	20	23	1977
安藤 功一 ほか	原料乳の防腐剤に関する研究	"	25	"
三浦 弘之 ほか	初乳の保存性に関する微生物学的研究, 3. プロピオン酸処理した初乳の微生物相	21	15	1978
持田 健旨 ほか	チーズカゼインの性状に関する研究 (熔融温度の影響)	"	23	"
進藤 一典 ほか	固定化Chymosin の調製について (第II報)	"	24	"
笹野 貢 ほか	無脂乳固形分の変動要因調査について	"	41	"
中村 芳隆 ほか	推定基準無脂乳固形分率による無脂乳固形分変動因の解析	"	43	"
上山 英一 ほか	推定基準無脂乳固形分率による野外調査の分析	21	44	"
蒔田 秀夫 ほか	根釧地方における一酪農場について, 月別牛乳の組成変化	"	45	"
嶋 功 ほか	無脂乳固形分の変動要因調査について			
	そのI 生理的, 環境的要因	22	13	1979
"	そのII 飼養的要因	"	"	"
菊地 政則 ほか	低温性細菌によるホエー蛋白質の分解	"	28	"
進藤 一典 ほか	キモンシに関する研究			
	第1報 キモンシの精製とその性質について	"	"	"
西川 進 ほか	潜在性乳房炎乳の組成及び性状について	"	30	"
黒沢 弘道 ほか	飼料給与が牛乳成分の変動に及ぼす影響	23 (1)	32	1980
嶋 功 ほか	乳房炎による泌乳量・乳成分の変動について	"	"	"
角田 省三 ほか	生乳中の細胞数測定方法に関する検討	"	33	"
加藤 和彦 ほか	生乳の凍結保存の及ぼす成分測定への影響	"	34	"
長南 隆夫 ほか	低温保存乳の乳質の変化に関する研究	"	"	"
	第6報 低温細菌の相互作用			
祐川金次郎 ほか	殺菌乳と滅菌乳の成分変化の比較	"	35	"
加藤 勲 ほか	各種溶融温の添加によって生じる αs -カゼインの変化について	"	"	"
安藤 功一 ほか	各種調整ホエーより分離したホエーたん白質の熱変性について	"	36	"
進藤 一典 ほか	固定化キモンシの調製について			
	VI 2-hydroxyethyl methacrylate による固定化について	"	"	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
進藤 一典 ほか	個乳の季節的成分変動と生産効率に関する研究			
	2. 乳成分変動とCurd 特性との関係について	24 (1)	43	1981
島崎 敬一 ほか	ゲルクロマトグラフィーによる牛乳ホエー成分のパターン分析	"	44	"
○肉・肉製品				
橋本 吉雄 ほか	肉及び肉製品の「ねとつき」防止について(第1報)	1952・春	15	1952
深沢 利行 ほか	雄びなの水煮かん詰と硫化水素発生に関する研究	"・秋	4	"
西部 慎三 ほか	肉の乾燥に関する研究, ウサギ肉の冬期自然乾燥について	1953・春	12	1953
深沢 利行 ほか	ドライソーセージの製造及び保存について(第1報)	"	13	"
安井 勉 ほか	ライファンケーシング使用の獣肉ソーセージに関する試験	"・秋	5	"
深沢 利行 ほか	殺菌剤としての簡易な次亜塩素酸ソーダの製法について	1954・春	15	1954
西部 慎三 ほか	脂質に関する研究, 第1報 札幌市近郊に飼育された豚脂の性状について	"	16	"
深沢 利行 ほか	微量拡散分析法による畜肉の鮮度判定に関する一考察	1955・春	10	1955
近藤 和彦	廃めん羊のと殺成績について	"	12	"
西原 雄二 ほか	獣脂の品質に関する研究, 第2報 上川郡東神楽村で生産された豚脂の性状について	"	"	"
三浦 弘之 ほか	羊筋肉抽出液の電気泳動的研究	"・秋	28	"
深沢 利行 ほか	馬肉の利用に関する研究	"	29	"
"	動物筋肉の水和に関する一考察	1956・春	1	1956
三浦 弘之 ほか	Myoglobin の離脱に関する研究			
	第1報	"	2	"
"	第2報	"・秋	"	"
"	第3報 カイウサギ及びエゾノウサギ筋肉の色調並びに Myoglobin 分布について	1	24	1958
酒井 国雄 ほか	ソーセージの結着力に関する研究	1956・春	12	1956
安井 勉 ほか	ソーセージの結着性とアクトミオシン系	1957・春	12	1957
三浦 弘之 ほか	肉の水和に関する研究			
	I 食塩成分が肉及び肉蛋白(myosin, actin)の水和に及ぼす影響について	"	17	"
後藤 哲志 ほか	II 各種塩類添加がソーセージの品質に及ぼす影響について	"・秋	19	"
三浦 弘之 ほか	IV 温度及びPH調整に伴う筋肉Homogenate の遊離金属類の消長並びにこれが水和に及ぼす影響	1958・春	16	1958
三浦 弘之 ほか	Sorbic acid の変質について	1957・秋	18	1957
西部 慎三	獣脂の栄養価に関する研究, 酸化豚脂の栄養価について(予報)	"	"	"
仁木 義哉 ほか	畜肉のWater holding-property に及ぼすPhosphatesal の効果について	1958・春	14	"
西部 慎三 ほか	獣脂の品質に関する研究, 第III報 北海道で常用される数飼料の豚脂の性状に及ぼす影響について	1	23	"
三河 勝彦 ほか	コンドビーフにおける揮発性塩基素(V.B.N)と硫化水素発生量について	"	25	"
西部 慎三 ほか	めん羊の育成に伴う肉質の変化に関する試験, 予報 コリデー			
	ル雌羊肉の肉質について	2	23	1959
安井 勉 ほか	胡椒中に存在するヘム蛋白質酸化促進物質について	3	1	1960
三浦 弘之 ほか	羊肉の臭気に関する研究, I 水蒸気蒸溜による羊脂の脱臭とその理化学的変化について	4	23	1961
深沢 利行 ほか	鶏肉罐詰の殺菌について	"	24	"
西部 慎三 ほか	豚脂の性状に及ぼす添加油脂の影響	5	22	1962
三浦 弘之 ほか	と殺前処理による肉の保存に関する研究, (3) ニトロフラン誘	"	23	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	導体静注による家兎肉の保存効果			
阿部 光雄 ほか	黄豚の札幌市内における発生とその過酸化物質含量について	〃	〃	〃
安井 勉 ほか	ポリリン酸塩の肉製品塩漬効果に及ぼす影響	6	35	1963
三浦 弘之 ほか	Papain による肉の軟化に関する研究, 第3報 と殺前注射による老廃鶏肉の軟化	8	30	1965
平尾 厚司 ほか	肉豚の飼養管理条件と肉質との相互関係の解析に関する研究, 豚肉の硬軟度の官能試験方法について	〃	31	〃
平尾 厚司 ほか	超音波による豚の脂肪層の測定方法について	9	33	1966
平尾 厚司 ほか	動物性脂肪添加代用乳給与による乳用雄子牛の肉質について	10	23	1967
三浦 弘之 ほか	畜産冷凍食品の微生物相とその汚染源について	15	40	1972
池添 博彦 ほか	豚肉の脂質成分について	〃	42	〃
渡辺 寛 ほか	牛肉の風味についての一知見	〃	43	〃
鮫島 邦彦 ほか	バブイン処理した鶏胸筋原線維の小片化	17	21	1974
山本 克博 ほか	凍結貯蔵が鶏胸筋原線維に及ぼす影響	〃	22	〃
三浦 弘之 ほか	肉質の理化学的評価に関する研究			
	2. 北海道で生産された3種の肉用牛の官能試験値と理化学的分析値との関係	18	44	1975
〃	4. 4品種の肉用牛の官能試験値と理化学的分析値との関係	22	27	1979
梶野 清二 ほか	超音波測定機を用いた豚のロース断面積の推定について	18	45	1975
三浦 弘之 ほか	腐敗した牛枝肉の腿深部から分離した <i>Proteus</i> sp. について	20	26	1977
宮崎 元 ほか	豚肉質の季節変動について	22	26	1979
新名 正勝 ほか	牛枝肉の長さが枝肉諸形質に及ぼす影響	〃	〃	〃
鮫島 邦彦 ほか	肉製品に添加した大豆タンパク質の SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動法による検出	〃	27	〃
所 和暢 ほか	豚枝肉の格付内容と枝肉形質・部分肉に関する一考察	23 (1)	12	1980
三浦 弘之 ほか	電気刺激による牛枝肉の肉質改善に関する試み(予報)	〃	38	〃
金 彦玄 ほか	冷却冷蔵条件下における肉タンパクの微生物による分解(第2報)	24 (1)	44	1981
宮崎 元 ほか	ラム肉の理化学性状に関する試験	〃	45	〃
○ 卵				
西部 慎三 ほか	皮蛋の製造法について, 第2報	1952・春	13	1952
星 和美 ほか	皮蛋中の遊離アミノ酸の検出について(予報)	1954・秋	30	1954
佐藤 公輔 ほか	卵白の脂質について	15	4	1972
広瀬 秀司 ほか	卵白中の微量脂質について	16	31	1973
森寄 七徳 ほか	採卵農家における破卵発生率と卵殻形質の推移	24 (1)	51	1981
○ 皮 革				
先本 勇吉 ほか	硫化油-鯨油エマルジョンの静止安定度とクロム革の脂肪吸収との関係について	1952・春	7	1952
先本 勇吉 ほか	水硫化石灰の脱毛効果について	1952・秋	4	〃
先本 勇吉 ほか	SO ₂ 還元クロム液の鞣皮性に及ぼす錯酸ソーダ及び蟻酸ソーダの効果	1953・春	12	1953
先本 勇吉 ほか	有機還元剤によるクロム液の鞣皮性に関する研究, 第4報 錯酸ソーダ及び蟻酸ソーダのマスク作用	1953・秋	3	〃
先本 勇吉	本道における麕めん羊皮の利用に関する研究			
	第1報 Shearing 製造試験	〃	4	〃
〃	第2報 代用 Chamois の製造試験	1954・秋	12	1954
先本 勇吉 ほか	クロム革中脂肪の層位的分布量と脂肪染色との関連性について	1954・春	13	〃
先本 勇吉 ほか	亜硫酸パルプ廃液鞣剤化の研究, 第6報 混合タンニンの選択	1954・秋	〃	〃

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
大杉 次男 ほか	吸着について, (3) 有機還元剤によるクロム液の鞣皮性に関する研究			
〃	第5報 有機酸のマスク効果とagingの関係について	1955・秋	12	1955
〃	第7報 クロムの沈澱生成に及ぼす硫酸ソーダの影響	1957・秋	13	1957
大杉 次男 ほか	クロムの吸着に及ぼすマンナン・ゾル添加の影響	1956・秋	10	1956
倉方 信義 ほか	植物タンニン草からのタンニン離脱に関する研究			
〃	第1報 タンニン鞣皮粉のアルカリ抽出	1	22	1958
〃	第2報 電離群, 非電離群結合タンニンのアセンソ, 尿素に 対する安定性の差異	2	12	1959
岡田 茂 ほか	アミノ酸残基とクロム反応量測定方法について	5	22	1962
塩谷 憲司 ほか	クロム・アミノ酸残基の反応におけるアミノ酸の種類による差 異	6	34	1963
〃	結合クロムに及ぼす中和剤の影響, 第1報 測定方法の検討	8	25	1965

(9) 草地・飼料作物

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
○草種・品種				
村上 馨 ほか	ソルゴーの栽培適否性及び飼料価値について	1952・春	5	1952
中村 済 ほか	天北地方産草類の飼料的特性	1953・春	9	1953
小島 昌也	アカクロバ地方在来種の意義について	1955・春	14	1955
上山 英一 ほか	宗谷地方の野草(イワノカリヤス)に関する試験及び調査(第 1報)	〃・秋	3	〃
及川 寛 ほか	天北地帯におけるルーサン栽培に関する研究, 第1報 適応性, 収量, その他の品種間差異	1956・秋	1	1956
赤城 望也 ほか	牧草類の草型に関する研究, I 異草型チモンズ品種の混植に ついて	1957・春	22	1957
米内山昭和 ほか	ルーサンX線処理による突然変異について(予報)	〃・秋	24	〃
坪松 戒三 ほか	根室地方における主要飼料作物の養分収量比較試験	2	19	1959
三股 正年 ほか	北海道における牧草改良に関する研究, 第1報 導入草種適応 試験	4	〃	1961
及川 寛 ほか	天北地帯における牧草の導入に関する試験, 第4報 各種牧草 の栄養生産性及び根系分布	〃	21	〃
福永 和男 ほか	十勝地域におけるイネ科草種の適応性について	6	14	1963
高倉 正臣 ほか	シロクロバ品種の適応性比較試験	〃	41	〃
村山 三郎	アルファルファの初期生育における品種間差異に関する研究	7	23	1964
千田 勉 ほか	アカクロバ品種適応性比較試験	〃	〃	〃
大森 昭治	草地内に自生する植物採集分類について	9	8	1966
林 満 ほか	牧草の生育特性に関する研究, (1) 牧草の生育過程における 養分吸収と栄養生産性の草種間比較, とくに初年目を中心とし て	〃	〃	〃
石田 亨 ほか	根釧地方における放牧型草種の草種及び利用季節の違いによる 飼料価値について	19	15	1976
○栽 培				
高野 信雄 ほか	模擬放牧(刈取頻度)が牧草の栄養生産性及び根に及ぼす影響 について(予報)	1953・春	9	1953
三股 正年 ほか	低位生産牧草の改良に関する研究, 第2報 機械力, 追肥の利	〃・秋	12	〃

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	用が不良採草地草の栄養組成並びに生産性に及ぼす影響について			
大原 久友 ほか	滝川種羊場牧草の飼料的価値	1954・春	14	1954
村上 馨 ほか	アルファルファ栽培に関する研究, I 異なる要因(品種・石灰・刈取頻度)及びその相互作用が収量, 飼料成分に及ぼす影響	1954・秋	4	"
小梁川忠士 ほか	飼料作物に対する尿素的葉面散布について	"	5	"
高野 信雄 ほか	低位生産草地の更新に関する研究 第1報 追肥・追播試験	"	6	"
宮下 昭光 ほか	第2報 5か年間の追肥, 追播効果	1957・秋	26	1957
三股 正年 ほか	笹地における牧草導入試験 第1報	1954・秋	7	1954
"	第2報	1956・秋	17	1956
"	第3報 4か年の導入効果	1957・秋	28	1957
村上 馨 ほか	牧草混播に関する研究, I 牧草混播26例の収量, 飼料成分及び植生について(1. 2年目)	1954・秋	23	1954
"	根釧地域における牧草地の実態調査, I 根釧地域牧草地の草生について	"	25	"
本橋 裕 ほか	土質の相違が飼料成分に及ぼす影響について	1955・春	13	1955
三股 正年 ほか	低生産草地の追肥の種類及び追肥効果に関する研究 第1報 追肥がオーチャードグラスの部位別割合及び栄養組成分に及ぼす影響について	"・秋	6	"
高野 信雄 ほか	第2報 追肥が生産量及び栄養組成に及ぼす影響	1956・秋	16	1956
小梁川忠士 ほか	除草剤塩素酸ソーダの毒性について	"	26	"
平賀 即稔 ほか	混播採草地に対する追肥が植生, 乾物, 粗蛋白, 無機成分等に及ぼす効果について(第1報)	1956・春	6	1956
坪松 戒三	混播牧草成分の時期的変化について	1956・春	7	1956
坪松 戒三 ほか	てん菜茎葉の成育時期並びに収穫後の処理による成分変化について	"	17	"
吉田 則人 ほか	草地の肥培管理に関する研究 I ルーサン栽培並びに飼料成分に及ぼす草地用肥料の肥効	"	21	"
大原 久友 ほか	II 火山灰地における採草地の追肥について	"	"	"
本橋 裕 ほか	土質の相違が飼料成分に及ぼす影響とその栄養的意義, 第5報 牧草栽培による無機成分収奪量の差異	"・秋	1	"
小梁川忠士 ほか	飼料作物に対する尿素的葉面散布について	"	2	"
及川 寛 ほか	泥炭野草地の草生改良に関する研究, 1) 除草剤(NaClO_3)利用による牧草地造成	"	16	"
"	2) 中間泥炭地における草地造成(第1報)	1957・春	6	1957
"	2) " (第2報)	"・秋	29	"
蔦野 保 ほか	草地の乾物, 粗蛋白, 植生, 石灰, りん酸等の収量及び含有率に及ぼす窒素, りん酸, カリ施用量の影響について(第2報)	"・春	1	"
赤城 望也 ほか	牧草類の競合に関する研究(予報)	"	25	"
上山 英一 ほか	ビートの収穫時期による根及びトップの収量並びに組成成分の変化について	"・秋	21	"
三股 正年 ほか	傾斜野草地の牧草導入に関する研究, 第1報 初年度における草生改良効果	"	30	"
高野 定郎	道内における瘠薄火山性土壌の草生改良について(第1報)	1958・春	10	1958
星野 貞夫 ほか	ビートトップの播種期による成分組成及び収量の変化について	1	20	"

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ペー ジ	年 次
小梁川忠士 ほか	飼料作物に対するジベレリン施与の影響(第1報)	1	20	1958
本橋 裕 ほか	牧草の栄養価査定に関する研究, 第2報 草類の化学組成に対する刈取時期の影響	"	21	"
高野 定郎 ほか	北海道における草地改良に関する研究 第7報 1. 道南地域の荒廃草原	"	22	"
斉藤 敏夫 ほか	第8報 2. 西紋別地域の重粘地	"	"	"
寺井 孝司 ほか	天北地帯における低生産草地の草生改良, 第1報 重粘地における追肥効果	2	17	1959
及川 寛 ほか	天北地帯の重粘地における牧草の肥培管理方式に関する研究 予報 基肥量が生育及び収量に及ぼす影響	"	18	"
"	第2報	3	11	1960
高野 信雄 ほか	永年牧草地の追肥量とその効果に関する研究, 第3報 5か年間の追肥効果について	"	"	"
三股 正年 ほか	長草型野草地の牧草導入に関する研究, 第2報 造成3年間の植生状況について	"	12	"
高野 定郎 ほか	牧草に対する各種窒素質肥料肥効比較試験成績について	"	13	"
三股 正年 ほか	北海道における改良牧野に関する研究, 第2報 自然牧野改良試験	4	19	1961
高野 信雄 ほか	第3報 放牧地における改良更新試験における改良更新試験	"	20	"
寺井 孝司 ほか	天北地帯の高台ササ地における草地造成 第1報 ササの特性及び根系と生育量との関係	"	21	"
及川 寛 ほか	第2報 異なる耕鋤方式が生産性に及ぼす影響	6	11	1963
及川 寛 ほか	天北地帯における牧草の導入に関する研究, 第5報 牧草に対する施肥が栄養生産性その他に及ぼす影響	4	22	1961
"	第6報 牧草の単・混播が栄養生産性に及ぼす影響	"	23	"
及川 寛	第7報 牧草の生育と栽培環境との関係について	5	25	1962
寺井 孝司 ほか	第8報 異なる播種期が収量並びに根系に及ぼす影響(1)	"	26	"
福永 和男 ほか	N, P, Kの施肥用量がアカクローバ・チモシーの混播割合及び収量に及ぼす影響について	4	"	1961
及川 寛 ほか	草地の維持管理に関する研究, 第1報 利用頻度が生産性並びに植生に及ぼす影響	5	25	1962
及川 寛 ほか	第2報 異なる刈取の高さが生産性並びに植生に及ぼす影響	6	12	1963
三股 正年 ほか	低生産永年草地の機械更新に関する研究 第1報 Pasture Renovator, Rotavate, Disk Harrowによる更新と慣行追肥による草生改良効果	4	25	1961
宮下 昭光 ほか	オーチャードグラスの生育時期別外観及び栄養価の推移とし好性並びに採食栄養量	5	26	1962
林 満 ほか	混播草類における各種窒素質肥料の肥効比較試験(1)	"	27	"
片岡 健治 ほか	混播草類における窒素施与量に関する試験(1)	"	"	"
高倉 正臣 ほか	牧草基肥としての堆肥, 厩成りん肥の効果に関する試験	"	"	"
高野 信雄 ほか	改良牧野の造成利用に関する研究, 第5報 自然牧野と改良牧野における肉牛の放牧効果と植生の推移について	6	12	1963
三股 正年 ほか	New Zealand 方式等による大規模草地の開発利用に関する研究, 第1報 Hoof cultivation 法による草地造成の適応性	"	13	"
吉田 則人 ほか	アルファルファの栽培並びに飼料的利用に関する研究, 第4報 生育階梯に伴う草量及びその成分の推移	"	"	"
林 満 ほか	牧草類の大量要素欠乏症について	"	14	"

発 表 者	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
片岡 健治 ほか	草類栽培における各種形態基肥りん酸の肥効の持続性に関する試験	6	15	1963
小塩 栄 ほか	ニュージーランド方式による草地造成試験(ササ型野草地の草地造成について)	"	41	"
"	第2報 ササ型野草地の草地造成について	7	20	1964
高野 定郎 ほか	林野用除草剤による放牧地内の宿根性障害植物駆除効果試験	6	42	1963
宮下 昭光 ほか	蹄耕(Hoof-Cultivating)法による草地開発利用に関する研究			
"	第2報 2か年間の造成効果と家畜の接地圧	7	20	1964
"	第3報 蹄耕造成時における基礎的要因の解析	"	21	"
高野 信雄 ほか	第4報 造成草地の利用性	8	24	1965
渡会 弘 ほか	長草型野草地の草生改良試験, 第1報 野草地の刈取・追肥による草生の変遷	7	21	1964
高倉 正臣 ほか	草地収量推定のためのサンプリング枠面積について	"	22	"
林 満 ほか	草類に対する各種形態りん酸の基肥としての肥効の持続性	"	24	"
山下 良弘 ほか	生草類の品質評価法に関する研究, 第1報 ラジノクロープの外観と栄養価の関連について	8	23	1965
大森 昭治 ほか	イネ科, マメ科牧草の混播における収量と植生の推移について	9	8	1966
吉原 典夫 ほか	高位生産草地造成に関する研究	"	10	"
片岡 健治 ほか	草類栽培における各種形態基肥りん酸の肥効の持続性に関する試験	"	11	"
小梁川忠士 ほか	オーチャードグラスに対する窒素の多施について	"	12	"
浅原 敬二 ほか	殺草剤利用による草地更新の検討	"	13	"
藤田 保 ほか	排泄ふん密度と不食残草地の発消長並びに採食交替周期について	"	"	"
鈴木慎二郎 ほか	不食過繁地の生成要因と抑圧に関する研究			
"	第2報 不食地の推移とその抑圧に対する一考察	10	14	1967
○利用(乾草)				
高野 信雄 ほか	乾草調製技術に関する研究			
"	予 報 乾牧草堆積の簡易重量測定法	1953・秋	9	1953
"	第1報 北海道において生産される乾草品質査定に関する試験	1954・春	1	1954
"	第2報 北海道において生産される乾草品質査定に関する試験, 1953年及び1954年産乾草類の栄養的特性について	1955・春	14	1955
"	第3報 北海道において生産される乾草品質査定に関する試験, 乾草の分類(group及びclass)及び乾草類の外観的査定(葉部割合, 緑度及び組織)と栄養組成との相関性について	"	15	"
"	第4報 北海道において生産される乾草品質査定試験, 1955年産ルーサン乾草の品質及び外観査定(葉部割合, 緑度及び茎の直径)と栄養組成の相関性について	1956・春	22	1956
"	第5報 北海道において生産される乾草品質査定試験, 乾草の葉部割合と栄養組成について	1958・春	9	1958
三股 正年 ほか	第6報 ヘイコンディショナーによる乾草調製試験	2	20	1959
山下 良弘 ほか	第7報 各種乾燥法による乾草品質と効果	7	19	1964
高野 信雄 ほか	第8報 針金架利用による乾草調製効果	10	6	1967
及川 寛 ほか	ビニールフィルム利用による乾草調製法に関する研究(第1報)	1957・春	8	1957

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
坪松 戒三 ほか	乾草調製法に関する試験	1957・春	14	1957
〃	1. 各種乾燥法の飼料成分に及ぼす影響 2. 三角架乾燥法における架種及び堆積量の飼料成分に及ぼす影響	〃	15	〃
藤井 甚作 ほか	Hay Conditioner 及び Crop Dryer 利用による乾草調製に関する考察			
米内山昭和 ほか	第1報 Hay Conditioner 処理による乾草調製上の効果について	2	19	1959
〃	第2報 Crop Dryer による乾草調製について	3	13	1960
〃	ルーサンの乾草調製方法と飼料成分、殊にカロチン含量について	2	20	1959
宮下 昭光 ほか	Forage Evaluation法に関する研究、乾草の品質評価について、第1報 乾草の品質が家畜の嗜好性と給与効果に及ぼす影響について	6	8	1963
上出 純 ほか	乾草調製収納法に関する研究(第1報)	〃	8	〃
長沼 勇 ほか	針金乾草法における作業能率	7	17	1964
鳶野 保 ほか	アルファルファの導入と利用法に関する試験。第1報 刈取期別、乾燥法別アルファルファ乾草並びにミールの品質について	〃	〃	〃
上出 純 ほか	根室地方における畜力ヘーコンデショナー利用の乾草調製試験	〃	18	〃
小塩 栄 ほか	多雨期における大量乾草調製に関する試験、第1報 プラットホームシステムによるクロープドライヤーの乾草調製法について	8	22	1965
高野 信雄 ほか	乾草調製利用に関する研究、第2報 省力機械化調製体系と品質並びに養分回収	9	15	1966
鈴木慎二郎 ほか	乾草の品質に及ぼす各種要因の解析に関する研究、第1報 異湿度下における乾草の変化	〃	16	〃
小塩 栄 ほか	多雨期における大量乾草機械化調製法の実用化について	〃	17	〃
檜崎 昇 ほか	乾草の梱包時水分含量が品質及び栄養価に及ぼす影響			
	I	13	9	1970
檜崎 昇 ほか	II 1, 2 番草について	14	47	1971
岩崎 薫 ほか	十勝地方における粗飼料の品質に関する2, 3の考察、第1報 乾牧草について	15	23	1972
石栗 敏機	刈取番草の違いがオーチャードグラス乾草の飼料価値に及ぼす影響について(Van Soestの分画法による検討)	15	24	1972
名久井 忠 ほか	粗飼料の品質査定に関する研究、第3報 アルファルファ乾草の刈取時期、刈取回次と栄養価について	17	9	1974
増子 孝義 ほか	成型乾草の調製過程における飼料特性の変化			
	1. 飼料成分及び消化率の変化	19	18	1976
藤田 裕 ほか	2. 窒素出納及び第一胃内性状の変化	〃	19	〃
玉木 哲夫 ほか	肉用牛の大規模繁殖経営における集団飼養技術に関する試験、 2. Big Baler を中心とした粗飼料の調製、(1) 根刈地 域におけるBig Balerの導入概況	〃	30	〃
石栗 敏機 ほか	バインダー利用によるアルファルファの乾草調製	20	14	1977
鳶野 保 ほか	流通粗飼料の規格及び等級の設定方式に関する調査研究、第3報 流通乾草の規格化と等級格付基準	〃	15	〃
清水 良彦 ほか	ビックベール乾草の簡易給与施設とその利用効果	22	22	1979
○利用(サイレージ)				
高野 信雄 ほか	草サイレージの製造理論とその技術に関する研究			

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ペー ジ	年 次
三股 正年 ほか	第3報	1952・春	3	1952
〃	第5報 草サイレージの調製法と栄養価について	1954・春	14	1954
〃	第6報 ビニール利用のトレンチサイロによる草サイレージの調製	1955・春	2	1955
〃	第7報 トレンチサイロ利用によるサイレージの調製並びに1954年産道内草サイレージの品質について	〃	3	〃
高野 信雄 ほか	第8報 ビニール利用トレンチサイロの効果について	1956・春	6	1956
〃	第9報 サイレージ品質査定に対する考察	1958・春	10	1958
仙田 久芳 ほか	尿素添加エンシレージに関する研究	1952・春	3	1952
斉藤 久幸 ほか	ビートトップサイレージの調製試験、添加物の影響について	1957・春	8	1957
小梁川忠士 ほか	サイレージ添加剤焦性亜硫酸ソーダ(SMS)の特性について(第1報)	1	13	1958
三股 正年 ほか	焦性亜硫酸ソーダ添加による草サイレージの調製・利用に関する研究			
高野 信雄 ほか	第1報 小型サイロによる基礎試験(1956, 57)	〃	17	〃
〃	第2報 トレンチサイロによる応用試験及び現地適応試験	〃	〃	〃
河野敬三郎 ほか	第3報 草及びビートトップに対する現地適応試験	2	21	1959
〃	北海道におけるサイレージ調製の実態について			
〃	1. サイロ並びにサイレージ原料について	1	18	1958
〃	2. サイレージ調製の失敗率とその要因	〃	19	〃
宮下 昭光 ほか	デントコーンサイレージの品質改善に関する研究			
〃	第1報 道内生産デントコーンサイレージの品質と栽培利用状況	2	21	1959
斉藤 久幸 ほか	サイレージ調製に関する試験, II てん菜類葉サイレージにおける飼料成分の損失量について	〃	22	〃
小梁川忠士 ほか	てん菜類葉及びそのサイレージの成分に関する研究, (2) 本道農家において生産されるてん菜類葉サイレージ成分の時期的推移	5	16	1962
高野 信雄 ほか	草飼料の評価法に関する研究, 第1報 Pennsylvania 方式によるForage Evaluationの適応性	〃	26	〃
高野 信雄 ほか	Forage Evaluation法に関する研究, サイレージの品質評価について, 第1報 コーンサイレージの品質評価	6	7	1963
荒 智 ほか	グラスサイレージの成分組成の相関について(予報)	〃	9	〃
長沼 勇 ほか	ヘイレージ(Haylage)と思われる飼料調製とその給与効果事例報告	〃	10	〃
平尾 厚司 ほか	バレイショサイレージの調製貯蔵に関する研究, 主に抜水と表面変質防止について	7	41	1964
長沼 勇 ほか	ヘイレージ(Haylage)と思われる飼料の調製経費と分析結果について	〃	42	〃
荒 智 ほか	グラスサイレージの調製, 貯蔵に関する化学的研究, 第2報 グラスサイレージの成分変せん過程について	〃	43	〃
坪松 戒三 ほか	サイレージの凍結機構と貯蔵中の栄養分の損失との関係	〃	〃	〃
高倉 正臣 ほか	ヘイレージ調製に関する試験	8	22	1965
檜崎 昇 ほか	ラジアコンフリーのサイレージ調製試験(予報)	〃	24	〃
山下 良弘 ほか	草サイレージの品質に及ぼす各種要因の解析に関する研究, 第1報 水分処理が品質に及ぼす影響	9	14	1966
中川 忠昭 ほか	ヘイレージ調製に関する試験	〃	16	〃
鷲野 保 ほか	粗飼料の省力的大量調製法に関する試験			

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ページ	年 次
	第1報 根釧パイロットファームにおけるサイレージの水分 含量と品質との関係	9	17	1966
坂東 健 ほか	第2報 無細切サイレージの調製試験	〃	18	〃
〃	第4報 タワーサイロによる無細切サイレージの調製試験と その飼養効果	10	7	1967
小倉 紀美 ほか	若刈サイレージの品質と飼料価値に及ぼす予乾の効果	〃	8	〃
山下 良弘 ほか	乳酸菌未添加によるサイレージの品質、消化率、養分回収率及 びし好性に及ぼす影響について	11	6	1968
目谷 義大	サイレージ発酵に関する研究、第2 発酵に及ぼす要因 (1) Plant juire 量と空気混入率	〃	7	〃
〃	IV 圧搾処理による搾汁液の量または濃度と成分の相違とサイ レージ発酵	15	17	1972
青藤 恵二 ほか	サイレージの水分測定法の改良に関する研究、第1報 トルエン 蒸留装置の改良について	11	8	1968
山崎 昭夫 ほか	草サイレージに対する乳酸菌(Lactobacillus Plantarum 培養液)の添加効果	13	10	1970
石栗 敏機 ほか	サイレージの消化、利用に関する研究			
	第5報 無細切牧草サイレージの品質改善と飼料価値につい て	〃	11	〃
石栗 敏機	第6報 F ₁ 青刈とうもろこしサイレージの飼料価値につい て	〃	12	〃
〃	第7報 青刈とうもろこしサイレージの飼料価値に及ぼす雌 穂率の影響及び飼料価値の簡易な推定法の検討	14	46	1971
三上 昇 ほか	原料草の切断方法とサイレージの品質	13	13	1970
高野 信雄 ほか	穀実サイレージの調製利用に関する研究、第2報 スチー ル気密サイロによるサイレージ品質、栄養価とし好性につい て	〃	16	〃
大久保正彦 ほか	スチール製気密サイロによるサイレージの調製について	14	44	1971
高野 信雄 ほか	高水分サイレージに対する乳酸菌(Lactobacillus plant- arum 培養液)の添加効果	15	14	1972
名久井 忠 ほか	(第3報)細断処理・水分水準がサイレージの品質に及ぼす影 響一有機酸と飼料組成の経時変化	〃	15	〃
山下 良弘 ほか	サイレージの2次発酵機序の解析とその防止			
	第1報 変敗しやすいサイレージのスクリーニング	〃	19	〃
荒 智 ほか	試作スチール気密サイロの機能とその利用上の問題点について	〃	20	〃
荒 智 ほか	とうもろこしのホールクロップサイレージの栄養価値	16	14	1973
鶴見須賀男 ほか	デントコーン、アルファルファ混合サイレージの調製	17	10	1974
黒沢 弘道 ほか	サイチーム(サイレージ添加剤)の効果	18	32	1975
名久井 忠 ほか	とうもろこしサイレージに関する研究			
	第4報 完熟したとうもろこしのホールクロップ、茎葉、芯 皮サイレージの飼料価値について	〃	32	〃
岩崎 薫 ほか	第5報 とうもろこしサイレージの飼料価値に及ぼす降霜の 影響	〃	33	〃
石栗 敏機	1番刈及び2番刈イネ科牧草サイレージの栄養価とヘキサミン 複合剤の添加効果	19	12	1976
和泉 康史 ほか	刈取時期を異にするととうもろこしサイレージと牧草サイレージ の飼料価値の比較	20	13	〃

(10) そ の 他

発 表 者 名	発 表 課 題	巻 号	ペ ー ジ	年 次
斉藤 文彦 ほか	北海道農家の井戸水中の硝酸、亜硝酸含量について	22	18	1979

付 記

当初、及川寛氏にも総説の執筆を依頼する予定であったが、支部創立30周年ということもあって、過去に当支部で発表された研究成果のまとめをお願いするよう変更した。ご多忙中にもかかわらず、1300編以上にも及ぶ莫大な発表課題のまとめをしていた及川寛氏に心からお礼を申し上げる。

(幹 事)